

第五十一回帝國議會
衆議院

勞働爭議調停法案(政府提出)外一件(勞働爭議調停法案(政府提出)治安警察法中改正法律案(政府提出)勞働組合法案(政府提出)委員會會議錄(速)第六回

會議

大正十五年三月二日(火曜日)午前十時
二十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 森田 茂君

理事 杉浦 武雄君

理事 安藤 正純君

理事 藏園三四郎君

理事 山口 政二君

高橋元四郎君

加藤 鯛一君

内ヶ崎作三郎君

比佐 昌平君

木暮武太夫君

濱田 國松君

渡邊 伍君

有馬 賴寧君

栗林 五朔君

本多貞次郎君

清瀬 一郎君

出席政府委員左ノ如シ

内務參與官 鈴木富士彌君

内務書記官 赤木 朝治君

社會局長官 長岡隆一郎君

司法參與官 八並 武治君

文部書記官 窪田 治輔君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

勞働爭議調停法案(政府提出)

治安警察法中改正法律案(政府提出)

勞働組合法案(政府提出)

○森田委員長 是ヨリ開會致シマス

○山口(政)委員 組合立法ノ根本ノ趣旨ニ付キマシテハ、本會議以來屢質疑應

答ヲセラレテ居ルノデアリマスカラ、

既ニ盡キテ居ルヤウデアリマスガ、尙

ホ簡單ニ從來ノ質疑ト違フ方面カラ

御尋ヲシテ見タイト思ヒマス、現在政

府ノ組合ニ對スル保護ノ實際ノ狀況ニ

付テ先ヅ御伺ヒ致シテ見タイ

○長岡政府委員 只今マデハ勞働組合

ニ關シマス法律規則等ガ一切ゴザイマ

セスノデ、事實上、組合ノ發達ヲ其儘事

實上認メテ居ルト云フダケノコトデ

アリマシテ、積極ニモ消極ニモ、先ヅ公

ニハ交渉ガ乏シイト云フコトヲ申上ゲ

タ方ガ事實ニ近イト思ヒマス、唯一ツ

目立チマスコトハ、以前ハ國際勞働會

議ニ送リマスル勞働代表ナルモノハ、

一般ノ工場、鑛山、或ル一定ノ人數ノ

集ッテ居リマス工場鑛山ノ者ニ全部投

票權ヲ認メテ居リマシタケレドモ、ソ

レガ國際會議デ色々問題ヲ起シマシタ

結果、一兩年前ヨリ所謂勞働條件ノ維

持改善ヲ目的トシテ居ル團體、即チ實

質上ノ勞働組合デナケレバ此選出ニ關

スル投票權ヲ與ヘナイ、共濟組合等ニ

對シテハ之ヲ勞働組合ト認メズシテ投

票權ヲ與ヘナイト云フ方ヲ執リマシタ

カラ、此意味ニ於テ間接ニ政府ハ勞働

組合ヲ認メテ居ルト云フコトモ結論ト

シテ言ヒ得ルカモ知レマセヌ、公ノ交

涉ト致シマシテハ目立チマスコトハ其

位ノコトデアリマシテ、今マデハ自然

ノ儘ニ放任シテ居ルト云フコトヲ露骨

ニ申上ゲタ方ガ一番事實ニ近イダラウ

ト考ヘマス

○山口(政)委員 只今ノ御答ニ對シテ

批評スル譯デハアリマセヌガ、先般來法

律ヲ作ッテ組合ヲ公認スルト云フコトヲ

言ッテ居リマスガ、私共ハ例ヘバ只今ノ勞

働代表選定ノ件デアリマシテモ、共濟

組合等ニハ代表權ヲ與ヘナイデ、勞働組

合ニハ代表權ヲ與ヘルト云フコトガ間

接ノ承認デアルト云フヤウナ御言葉デ

ゴザイマスガ、併シハ言葉ノ爭ヒノ

ヤウデアリマスケレドモ、實際ニ於テ

ハ勞働組合ヲ公認シテ居ッタト云フコ

トデナケレバ了解ニ苦シム、公認ト云フ

ノハ政府ガ認メルト云フノガ公認デア

リマシテ、默認デモ何デモ政府ガ認メ

テ居ル以上ハ公認ダト考ヘテ居リマス

ガ、然ルニ政府デハ今迄ハ公認デナイ

ガ、今度組合法ヲ作ッテ公認シテ保護ス

ルト云フ御説明ノ仕方デアリマス、是

ハ考ノ相違カモ知レマセヌガ、實際勞

働組合ヲ禁止シナイ、サウシテ自然ノ

ヤウナ御説明デアリマシタガ、實際ニ

於テハ公認シテ居ッタト云フヤウニ認

メラレルノデアリマス、モウ一應其點

ニ付テ承ッテ置キタイト思ヒマス

〔森田委員長、委員長席ヲ退キ藏園理事代リ著席〕

○長岡政府委員 先程私が申上ゲタ中

ニ、勞働組合ニ關スル何等ノ法律規則

等ガアリマセヌカラト云フコトヲ御斷

リシテ置キマシタガ、要スルニ認メヌ

ト云フ言葉ノ爭ヒデアリマスレバ、是

ハ唯文字上ノ論デゴザイマスガ、若シ

只今ノ私ノ答辯デ御氣ニ入りマセヌケ

レバ、法規ノ上ニ於テ今迄認メテ居ラ

ナカッタト申上ゲタナラバ、ソレデ御承

知下サルコト、思ヒマス

○山口(政)委員 先般川北電氣ト純向

上會トノ間ニ勞働協約ガ結バレテ居ッ

タト云フコトヲ聞イテ居リマス、此勞

働協約ヲ政府ハ一ツノ——法律問題ニ

涉ルヤウデスガ、慣習トシテ既ニ御認

ニナッテ居リマスガ、此點ヲ承リタイ

○長岡政府委員 慣習トシテ認メルト

云フコトニナリマス、是ハ要スルニ

民法ノ例外規定ヲ爲スカドウカト云フ

問題ニナリマスカラ、是ハ之ニ關スル

爭ヒガ起リマシタ際ニ、裁判所ガ何等

カノ判決ヲ下シマセヌケレバ、行政官

廳トシテ御答申上ゲルコトハムヅカシ

カラウト考ヘマス、唯私ノ記憶シテ居ル所デハ、川北電氣製作所ト純向上會トノ間ニ行ハレテ居ル勞働協約ニ付キマシテハ、未ダ之ニ關スル係争事件ガ起ラナイヤウニ記憶シテ居リマス、隨テ訴訟ニナツテ居リマセヌカラ之ガ果シテ法律ニ代ルベキ慣習上ノ效力ガ認メラレテ居ルカドウカト云フコトハ、未決ノ問題トシテ殘サレテ居ルト御承知ヲ願ヒタイ

○山口(政)委員 勞働協約ノ事ハ特別ノ規定ニ讓ルト云フノデスカラ、ソレデ私共ハ満足シテ宜シイヤウデスガ、併シ實際問題トシテ極メテ重要ナコトデアリマス、又此規定ニ挿入シテ然ルベキ性質ノモノデモアリマスノデ、只今ノ御答辯ニ對シテモウ一應御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、此協約ニ付テハマダ爭議ガアリマセヌカラ判決ガ無い、隨テ是ガ法タル慣習タリヤ、事實タル慣習タリヤト云フコトニ付テモ、行政官廳トシテ答辯ガ出來ナイト云フ御答デアリマスガ、只今ノ川北電氣トノ間ノ勞働協約ハ、公ノ秩序善良ノ風俗ニ反スルモノナリヤ否ヤト云フコトハ、行政官廳ト雖モ裁判ノ例ヲ俟タズシテ御分リノコト、考ヘル、其點ニ付テ承リタイ

○長岡政府委員 公ノ秩序トカ善良ノ風俗ト云フコトハ、文字ノ意氣ガ甚ダ不明瞭デアリマシテ、此事ニ關シテハ過日清瀬君ノ公益問題ニ對スル御質問

ニ對シテモ、實ハ露骨ニ申セバ私カラ明瞭ナ定義的ノ御答ヲ致サナカッタノデアリマスガ、詰リ是ハ世ノ中ノ狀況ガ總テ關係ヲ持ツコトハ申ス迄モナイコトデアリマシテ、只今迄世ノ中ノ風俗上良イト認メラレタコトデモ、時世ガ變化スレバ數年ナラズシテ是ガ反對ニ解セラレルト云フコトモアルノデゴザイマス、隨ヒマシテ公ノ秩序善良ノ風俗ト云フコトハ、其時ノ社會事情ヲ能ク斟酌シマシテ、裁判所ニ於テモ之ニ關スル判決ガ時勢ノ進歩ト共ニ進歩シテ行キ、又變テ行クモノト考ヘルノガ普通デアルト思ヒマスノデ、此勞働協約ニ關スルコトモ世ノ中ニ於テ之ヲ常識上認メル、即チ同盟罷業ガ以前ハ社會常識ニ於テモ惡事デアルカノ如ク考ヘラレタコトモゴザイマシタ、併ナガラ今日ニ於テハ之ヲ罪惡ト考ヘルコトハ、尠クトモ社會ノ常識ニ反スル、恐ラクハ又社會事情ガ變遷シマスレバ、同盟罷業ハ權利行爲デアルト云フヤウニ認メラレル時期ガ來ルカモ知レマセヌ、右ト同様ナ事情デアリマシテ、此勞働協約ニ關シテモ矢張其ノ中ノ事情ノ變化ニ伴ヒマシテ、果シテ只今御引用ノ法文ニ該當スルヤ否ヤト云フコトヲ決メベキモノト考ヘテ居リマス、而シテハ私一個ノ考デゴザイマスケレドモ、只今川北電氣製作所ト純向上會トノ間ニ行ハレテ居リマス勞働協約ハ、非常ニ圓滿ニ遂行サレテ居ルノデアリ

マシテ、格別社會ノ秩序ニ反スルヤウナコトモアリマセヌカラ、私一個ノ考トシテハ決シテ惡イ例トシテ引用スベキモノデハナカラウト考ヘテ居リマス

○山口(政)委員 尙ホ其點ニ付キマシテ、行政調査會デハ勞働協約ノ趣旨ヲ認メルト云フヤウニ御決定ニナツタト聞イテ居リマスガ、社會局長官一個ノ私見トシテ、吾々ハ公序良俗ニ反セズト云フ御辯明ニ満足致シマスガ、政府全體トシテ勞働協約ハ公序良俗ニ反セザルモノデアアル、隨テ民法上ノ規定ニ依テ今迄解決ノ付カナカッタ勞働協約ト云フモノハ、現在ノ社會通念ニ依テ公序良俗ニ反セナイモノデアルト云フ政府全體トシテノ御答辯ガアリマシタナラバ、私共満足スルノデアリマス、隨ヒマシテ此點ハ現在ノ問題若クハ來ルベキ議會ニ提案セラレル問題ニモ關係シマスノデ、餘リ執拗イヤウデスガモウ一遍此點ヲ御尋シテ置キマス

○長岡政府委員 行政調査會ノコトハ過日モ大臣ヨリ申上ゲタヤウニ、ホンノ政府部内ノコトデアリマスカラ、此處デ之ヲ私カラ申上ゲテ善イカ惡イカ迷ヒマスケレドモ、既ニ山口君ハ其内容ヲ御存ジデアリマスカラ、御隱シ申シテモ致方アリマセヌノデ申上ゲマスガ、行政調査會ニ於ケル決定ハ只今ノ公ノ秩序善良ノ風俗ト云フ問題ニハ觸レタ議論ハアリマセヌデ、唯勞働協

約ト云フコトニ付テハ、敢テ茲ニ禁止スル必要ハナイ、之ハ他ノ單行法ニ於テ之ヲ認ムル民法ノ例外規定トシテ、效力ヲ認ムルコトニ定メテモ差支ナイ、併ナガラ之ハ勞働組合法ノ中ニ書ク筋合ノモノデナイ、又書クトスレバ是デ不十分デアアルカラシテ、尙ホ能ク實情ヲ研究シテ、單行法トシテ制定シテモ遅クハアルマイ、只今御引用ノ川北電氣製作所ト純向上會トノ間ニ結バレタル唯一ツノ例ガアルノデアリマシテ、マダ社會問題トシテ取扱ヒ、本期議會ニ於テ解決シナケレバナラヌト云フ切迫シタ問題デナクシテ、尙ホ主務官廳ニ於テ篤ト研究ノ上、近キ將來ニ於テ之ニ關スル單行法ヲ制定シテモ宜カラウト云フヤウナ決定ノ下ニ取運バレタノデアリマシテ、慣習トシテ效力ヲ認ムルカドウカ、民法ノ公序良俗ト云フヤウナ問題ニ觸レテノ議論ハ無カッタノデアリマス、ソレダケデ御了承ヲ願ヒタイ

○山口(政)委員 政府ニ於テハ現在ニ於テモ法律ハナイガ、團體交渉權ナルモノヲ御認ニナツテ居ルノデセウナ

○長岡政府委員 團體交渉權ニ付テハ只今マデ矢張何等ノ法制ガアリマセヌカラ、之ニ對シテ實際問題ガ起リマシテモ解決スル方法ハナイノデアリマシテ、爭議ノ時ニ能ク問題ニナリマスガ、僱傭者側ニ於テ勞働組合ノ幹部ノ交渉ヲ拒絕スルヤウナ場合ニハ、或ハ好意

的ニマ、ア會ツテ見タラ宜カゾウ、ト云フヤウナコトデ、忠告スルヤウナコトハ事實ゴザイマシタ、ゴザイマシタガ之ハドウモ面會ト云フコトハ個人ノ自由デアリマスカラ、強制スル途ハナイノデアリマシテ、忠告シテ會ツタトシテモ會ハヌトシテモ、之ニ何等ノ法制ガナイノデ致方ハナイ、先日申上ゲタハウニ此勞働組合法ガ議會ノ協賛ヲ得テ法律トナリマスレバ、大體ニ於テ勞働組合ト云フモノヲ公認シ、又勞働組合ガ勞働條件ノ維持改善ヲ目的トスル團體デアルト云フコトモ公認サレルモノデアリマスカラ、法文ニハ何等ノ規定ハアリマセヌケレドモ、是ガ通過致シマスレバ、最早此勞働組合ヲ勞働爭議ノ際ノ相手方トシテ認メルト云フコトニ漸次ナルダラウト考ヘマス、併ナガラ獨逸ノ法文ニ在リマスルヤウニ、勞働組合ノ幹部ト面會ヲ拒絕シテハナラヌト云フヤウナ明ラカナ成文法ハアリマセヌカラ、或ハ大勢ニ反シテ矢張組合トノ交渉ヲ避ケルト云フコトガ出來ルカモ知レヌ、現在ニ於テハ、何等ノ法規ガアリマセヌカラ、之ヲ事實上公認シテ居ルヤウナ狀況デ、唯或場合ニ幹部ト交渉シタナラバ爭議ハ解決ガ付キンウダト云フヤウナ場合ニ、會社側ニマアサウ云フ事ヲ言ハズニ面會シタラドウカト云フヤウナ忠告ヲ試ミタコトガアル、其位ノ程度デアルヤウニ思ヒマスカラ、此點デ御了承ヲ願ヒマス

○山口(政)委員 同盟罷業ニ付キマシテ、實例ト致シマシテ損害賠償ノ起リマシタヤウナコトガゴザイマスカ
○長岡政府委員 只今マデハナイサウデゴザイマス
○山口(政)委員 政府ノ御考トシ、シテハ、只今マデ幸ニ損害賠償ノ實例ガナカッタト云フコトデアリマスルカラ、結構デアリマスガ、尙ホ之ハ條文ニ這入ッテ御尋スル點ト關係シマスガ、同盟罷業ニ付テ——此組合法案ト全然離レテ、現在ノ——今マデノ政府ノ考ヲ承リタイノデアリマス、同盟罷業ニ付テ損害賠償ノ實例ガナイトシテモ、政府ノ考デハ同盟罷業其モノガ權利ヲ侵害シ得ル性質ノモノデアリヤ否ヤ、違法性ノモノデアリヤ、此問題ニ付第十五條ニ關係シテ參リマスガ、豫メ伏線トシテ政府ノ考ヲ承リタイ

併シ實例ガナイト申上ゲマシタノハ、斯カル場合ニ個々ノ勞働者ガ契約不履行ニ依テ生ゼシメタ損害高ラ、一々相手取ッテ訴訟ヲ起シマシタ所デ、御承知ノ通り勞働者ハ申スマデモナク其勞力ニ依テ生活シテ居ルノデアリマスカラ、假令訴訟ニ勝ッテモ負ケテモ、實際個々ノ勞働者カラ其損害ヲ取立テルト云フヤウナコトハ事實出來マセヌカラ、今マデサウ云フ係爭事件ガナカッタ考ヘテ居リマス、併ナガラ此法案ニ依リマシテ、假ニ組合ガ法人トナル場合ヲ想像致シマスルト、組合ノ財産ト云フモノハ將來相當巨額ニ上ルモノト見ナケレバナラヌ、其場合ニ於テ此組合即チ法人タル組合ヲ相手取ッテ損害賠償ヲ請求スルト云フコトハ、豫想シ得ルノデアリマシテ、此場合ノ解釋ハ如何ニナルカト言ヘバ、原案ニアリマスルヤウナ免責規定ガナイト假定致シマスレバ、自分ノ債務ノ不履行ニ依リ不法行為ノ原因ニナリマセヌケレドモ、他人ニ對シテ義務ノ履行ヲスルナト云フコトヲ勸誘スルコトハ、不法行為ノ原因ニナルヤウニ思ハレルノデス、此事モ學說上ハ色々議論ガアルヤウデゴザイマスガ、此頃司法省アタリノ意見ヲ聞イテ見ルト、他人ニ債務ノ不履行ヲ勸誘シタコトガ先ヅ不法行為ノ原因ニナルト云フ意見ガ立チ得ルノデアリマシテ、サウナリマス云フト、組合ノ幹部即チ法人ノ組合ガ債務ノ不

履行ヲ勸誘スル、即チ同盟罷業ヲ勸誘スルト云フコトニ依リマシテ、不法行為ガ成立スル、隨ヒマシテ四十四條ノ民法ノ規定ニ依リマシテ、組合ソレ自體ガ責任ヲ負ハナケレバナラヌト云フ事ニナリマス、事實上同盟罷業ト云フモノハ餘程困難ニナツタ來ル、隨ヒマシテ此原案ノ免責規定ヲ置イタ次第デアリマス、法案ト離レテト云フ御要求デゴザイマシタガ、勢ヒ法文ニ絡ミ付イテ御答シマシタガ、大體ソレデ御酌ミ取ヲ願ヒマス

○山口(政)委員 サウ致シマス、政府ガ從來及現在ニ至ルマデノ勞働組合ニ對スル事實上ノ保護ノ問題ニ付テ、大體了承致シマシタ、詰リ放任ヲシテ居ッタノデアツテ、保護ハシテ居ラナイ、間接ノ保護ハシテ居ッタガ、直接ノ保護ハシテ居ラナイト云フコトニ了承シテ宜カラウト思ヒマス、又此勞働協約ノ問題ニ對シテハ、公序良俗ニ反セザルモノデアルト云フ御所見ヲ御述ニナッタコトハ満足致シマス、其程度ニ了致シマシテ次ノ方ニ移ラウト思ヒマス、サウ致シマス、是亦法案ヲ離レマシテ、政府ガ今後勞働組合ニ對シテドウ云フ保護ノ方針ヲ御持ニナルカ、甚ダ漠然トシテ居リマスガ、現實ノ問題ヲ離レテ其點ヲ伺ヒタイ

○長岡政府委員 假ニ此法律案ガ無い、之ヲ想像ノ外ニ置イテ、將來ドウ云フ態度ヲ勞働組合ニ對シテ取ルカト云

第五類第六號 勞働爭議調停法案(政府提出)外一件委員會會議錄 第六回
大正十五年三月二日

○山口(政)委員 同盟罷業ニ付キマシテ、實例ト致シマシテ損害賠償ノ起リマシタヤウナコトガゴザイマスカ
○長岡政府委員 只今マデハナイサウデゴザイマス
○山口(政)委員 政府ノ御考トシ、シテハ、只今マデ幸ニ損害賠償ノ實例ガナカッタト云フコトデアリマスルカラ、結構デアリマスガ、尙ホ之ハ條文ニ這入ッテ御尋スル點ト關係シマスガ、同盟罷業ニ付テ——此組合法案ト全然離レテ、現在ノ——今マデノ政府ノ考ヲ承リタイノデアリマス、同盟罷業ニ付テ損害賠償ノ實例ガナイトシテモ、政府ノ考デハ同盟罷業其モノガ權利ヲ侵害シ得ル性質ノモノデアリヤ否ヤ、違法性ノモノデアリヤ、此問題ニ付第十五條ニ關係シテ參リマスガ、豫メ伏線トシテ政府ノ考ヲ承リタイ

併シ實例ガナイト申上ゲマシタノハ、斯カル場合ニ個々ノ勞働者ガ契約不履行ニ依テ生ゼシメタ損害高ラ、一々相手取ッテ訴訟ヲ起シマシタ所デ、御承知ノ通り勞働者ハ申スマデモナク其勞力ニ依テ生活シテ居ルノデアリマスカラ、假令訴訟ニ勝ッテモ負ケテモ、實際個々ノ勞働者カラ其損害ヲ取立テルト云フヤウナコトハ事實出來マセヌカラ、今マデサウ云フ係爭事件ガナカッタ考ヘテ居リマス、併ナガラ此法案ニ依リマシテ、假ニ組合ガ法人トナル場合ヲ想像致シマスルト、組合ノ財産ト云フモノハ將來相當巨額ニ上ルモノト見ナケレバナラヌ、其場合ニ於テ此組合即チ法人タル組合ヲ相手取ッテ損害賠償ヲ請求スルト云フコトハ、豫想シ得ルノデアリマシテ、此場合ノ解釋ハ如何ニナルカト言ヘバ、原案ニアリマスルヤウナ免責規定ガナイト假定致シマスレバ、自分ノ債務ノ不履行ニ依リ不法行為ノ原因ニナリマセヌケレドモ、他人ニ對シテ義務ノ履行ヲスルナト云フコトヲ勸誘スルコトハ、不法行為ノ原因ニナルヤウニ思ハレルノデス、此事モ學說上ハ色々議論ガアルヤウデゴザイマスガ、此頃司法省アタリノ意見ヲ聞イテ見ルト、他人ニ債務ノ不履行ヲ勸誘シタコトガ先ヅ不法行為ノ原因ニナルト云フ意見ガ立チ得ルノデアリマシテ、サウナリマス云フト、組合ノ幹部即チ法人ノ組合ガ債務ノ不

履行ヲ勸誘スル、即チ同盟罷業ヲ勸誘スルト云フコトニ依リマシテ、不法行為ガ成立スル、隨ヒマシテ四十四條ノ民法ノ規定ニ依リマシテ、組合ソレ自體ガ責任ヲ負ハナケレバナラヌト云フ事ニナリマス、事實上同盟罷業ト云フモノハ餘程困難ニナツタ來ル、隨ヒマシテ此原案ノ免責規定ヲ置イタ次第デアリマス、法案ト離レテト云フ御要求デゴザイマシタガ、勢ヒ法文ニ絡ミ付イテ御答シマシタガ、大體ソレデ御酌ミ取ヲ願ヒマス

○山口(政)委員 サウ致シマス、政府ガ從來及現在ニ至ルマデノ勞働組合ニ對スル事實上ノ保護ノ問題ニ付テ、大體了承致シマシタ、詰リ放任ヲシテ居ッタノデアツテ、保護ハシテ居ラナイ、間接ノ保護ハシテ居ッタガ、直接ノ保護ハシテ居ラナイト云フコトニ了承シテ宜カラウト思ヒマス、又此勞働協約ノ問題ニ對シテハ、公序良俗ニ反セザルモノデアルト云フ御所見ヲ御述ニナッタコトハ満足致シマス、其程度ニ了致シマシテ次ノ方ニ移ラウト思ヒマス、サウ致シマス、是亦法案ヲ離レマシテ、政府ガ今後勞働組合ニ對シテドウ云フ保護ノ方針ヲ御持ニナルカ、甚ダ漠然トシテ居リマスガ、現實ノ問題ヲ離レテ其點ヲ伺ヒタイ

○長岡政府委員 假ニ此法律案ガ無い、之ヲ想像ノ外ニ置イテ、將來ドウ云フ態度ヲ勞働組合ニ對シテ取ルカト云

フ御尋デゴザイマシタガ、是ハ實ハ非常ニムツカシイ御質問デアッテ、法規ニ於テ根據ガアリマセヌケレバ、積極的ニ政府カラ働キ掛ケテ保護スルト云フヤウナコトハ、餘程困難ト考ヘマス、矢張從來取り來ッテ居リマシタヤウナ間接的ノコト、即チ先程モ申上ゲマシタ勞働代表選出權デアルトカ、其他或ハ中央職業紹介ニ關スル委員、又地方職業紹介委員會ト云フヤウナモノニ、事實上勞働組合ノ代表者ヲ任命シテ居リマスガ、サウ云フヤウナ間接的ノコトニ依テ認メテ居ルト云フ意思ヲ、間接ニ表示スルト云フコトダケデアリマシテ、法規ニ基カズシテ、積極的ニ何等カノ保護ヲ働キ掛ケルト云フヤウナコトハ、困難デアラウト考ヘマス

○山口(政)委員 私ノ御尋致シタイ點ハ、政治ハ實際デアリマスカラ、實際ヲ離レテ居ル架空ノ議論ヲスルト云フ意味デハナイ、併ナガラ理想ノナイ政治ガ良キ現實ヲ齎スト云フコトモナイト思ヒマスカラ、ソコデ殊ニ勞働組合若クハ勞働問題ニ付テ、極メテ堪能デ居ラッシャル社會局長官竝ニ社會局ノ諸君、又政府ニ於テモ法案ヲ出ス位デアルカラ、政府ノ肚ノ裡デハ勞働組合ノ將來ニ對スル保護方針ト云フモノハソレゾレ決定シテ居ルデアラウト考ヘマス、唯ソレガ現實ニドレダケ現ハレタカト云フコトハ別個ノ問題デアル、併シ御考ト致シマシテハ相當ノ方針ガオ

アリニナルト思ヒマシテ、實ハ漠然タル御尋ヲシタノデアリマスガ、先程來屢此御尋ハ、保護力取締カト云フコトガ本會議以來繰返サレテ居リマス、其度毎ニ政府ハ保護デアル、此條文ト此條文ヲ見ルト云フ御答辯ガアリマスノデ、私ハ政府ハ此法案ヲ以テ政府ノ考ヘテ居リマスル保護方針ガ全部具體化シテ居ルノデアルカ、ソレトモ此法案ハ不幸ニシテ此程度ダガ、實際勞働組合ノ爲ニハ政府ハ此所マデ考ヘテ居ルト云フヤウナ、一ツノ理想ガアルカドウカ、サウ云フ點ヲ御尋シタイト思ッテ居リマス

○長岡政府委員 非常ナムツカシイ御質問デ甚ダ當惑致シマスガ、成程無論理想ナシニ實際ト云フモノハナイト云フ御話、御尤デアリマス、無論理想ガナ

ケレバイケマセヌガ、併シ又實際ト云フ問題モ離レル譯ニ行カヌデ、實際ヲ離レテ理想論ヲ致ス譯ニモ行カズ、ソコガ非常ニ理想ト現實ト間ニ色ミナ問題ガ起ル所ダラウト思ヒマスガ、大體政府案ト致シマシテハ、先程申上ゲタヤウニ此提案致シマシタ勞働組合法案ヲ以テ、今日ノ時世ニ於テ適當ナモノト信ズルト云フコトハ、內務大臣ヨリ繰返シテ申上ゲタ次第デアリマス、此法案ガ假ニ通過致シマスレバ、此法案ニ依テ將來勞働組合ニ對シテ相當ノ方針ガ立ッ譯デアリマスガ、不幸ニシテ此法案ガ否決サレ、議會ヲ通過シ

ナカッタト云フ場合ニ、然ラバ如何ナル積極的ノ方針ヲ以テスルカト云フ御尋デゴザイマスガ、議會デ否決サレマスレバ、ドウモ本法ノ精神ニ依テ方針ヲ進メテ行クト云フヤウナコトハ、是ハ議會政治ノ精神ニモ反スルコトデアリ、矢張此法案ガ通過致シマセヌケレバ、從前通り唯組合ハ自然ノ發達ニ委シテ政府ハ之ニ干涉シナイ、而シテ色ミナ問題ニ付テ勞働組合ヲ只今申上ゲマシタヤウニ、或ハ勞働代表選出權、或ハ職業紹介所ノ委員ニ任命スルト云フヤウナ、間接ニ勞働組合ヲ認メル位デアリマシテ、法律ヨリ離レテ議會ノ否決シタ法律ニ反スルヤウナ方針ヲ取ッテ、政府ガ積極的ニ進ムト云フコトハ、是ハ穩ヤカナラヌコトデアラウト思ヒマス

○山口(政)委員 私ノ御尋ハソレデ宜シウゴザイマス、少シ茫漠トシテ居ルト云フヤウナ御言葉デアリマシタガ、然ラバ法案ニ一寸戻リマシテ、第一條ニ於テ政府ハ職業別產業別ト云フコトヲ言ッテ居ラレルガ、若シ政府ニ一ツノ理想ヲ置カレマシテ、サウシテ或ル限度ヲ以テ此所マデ引上ゲタイト云フ限度ガアルケレドモ、併シ第一期ノ組合法トシテハ、先ヅ職業別產業別ト、謂ハバ保護ノ小出シヲシテ置カウ、ケレドモ理想トシテハ聯合ヲ是非認メナケレバナラヌト云フヤウナ御考ガアルノデハナイカ、ト云フコトヲ具體的ニ御尋シ

タイノデアリマスガ、ソレハ法案全部ニ涉ッテ暇ヲ取リマスカラ、ソコデ政府トシテハ一ツノ限界、政府ノ肚ノ裡ニ仕舞ッテ置カレマスル限界——此法案ヨリ離レタ政府ノ從來ノ方針ト違ッタ方針ガアルカナイカト云フコトヲ、概括的ニ御尋致シタイノデアル、併シ強ヒテソレ以上ニ御答辯ヲ願ハナクテモ宜シウゴザイマスケレドモ、如何デゴザイマセウカ

○長岡政府委員 御質問ノ御趣旨ハ能ク諒解致シマシタ、只今ノヤウナ御質問デアルト、假ニ此法案ガ通過シテ、將來又或ル時期ニ於テ、之ヲ改正スル考デモアルカト云フヤウナコトニモ伺ハレマスガ、先程申上ゲタヤウニ、此法案ハ今日ノ時世ニ於テハ、是レ位ノモノガ適當デアラウト云フ考デアリマスガ、併ナガラ無論世ノ中ノ狀況ト云フモノハ變化スル、又人同ノヤルコトデアリマスカラ、如何ニ慎重審議ヲシマシテモ、神樣ノヤウナ譯ニハ參ラナイ、今日ニ於テハ之ヲ適當ト政府ハ考ヘテ居リマスケレドモ、日本ニ於ケル勞働狀況ガ非常ニ變化スル、社會事情モ非常ニ變化スルト云フヤウナコトガアレバ、ソレハ其時ノ宜シキニ從テ法律ハ改正スベキモノデアッテ、殊ニ民法ノ如ク稍固定性ヲ帶ビテ居リマスル法律ト違ヒマシテ、社會立法ノ如キハ、社會事情ノ變化ニ依テ適用宜シキヲ得ルト云フコトガ必要デゴザイマス、清瀬君ハ

フコトガ必要デゴザイマス、清瀬君ハ

先づ二十年ハ恐ラクハ改正出來マイト云フヤウナ御意見モゴザイマシタケレドモ、政府ハ社會ノ事情ガ變リ、勞働運動等ノ狀況ガ大ニ異ナリ、而シテ世人ノ之ニ對スル考モ違ッテ來ルト云フコトニナレバ、其時ニ應ジテ改正案ヲ提出スルト云フコトハ、無論致サナケレバナラヌコトデアリマシテ、此議會ニ於テ此法案ガ通過スレバ、二十年間ハ據置クト云フヤウナ考ハ持ッテ居リマセヌ、併ナガラ例ヘバ例ニ御引キニナリマシタ産業別職業別ノ問題ノ如キ、或ハ聯合ニ法人格ヲ與ヘル問題ノ如キ、今日ニ於テハ政府ハ此原案ヲ適當ト考ヘテ居リマスルカラ、ソレヲ何時改正スルト云フヤウナ將來ノ見込ニ對シマシテハ、凡ソ何時ト云フヤウナコトヲ申上ゲルコトモ出來マセズ、又社會事情、勞働運動ノ事情ガ變化致サナケレバ、或ハ二十年據置キト云フヤウナコトニナルカモ知レマセヌガ、ソレ等ハ其時ノ事情ニ依リマシテ、宜シキニ應ズルト云フコトヲ御答ヘ申上ゲル外ニ、ドウモ明快ナル御答辯ヲ申上ゲルト云フコトハ非常ニ困難デアラウト考ヘマス

○山口(政)委員 此案ノ改正不改正ト云フヤウナコトニ付キマシテハ、是ハ此法案ガマダ通ラヌ前デアリマスルカラ、私ハ論ズルノデハナイノデアリマス、清瀬君ガドウ云フ質問ヲシタカ私記憶シマセヌガ、政府トシマシテハ、現實ニ此法案ニ這入ッテ參リマスレバ、是ハ不満足不完全デアルト云フコトヲ仰シヤルコトガ出來ナイノハ、私モ能ク分ッテ居リマス、現狀ニ於テハ本案ハ適當ナルモノデアルト言ハナケレバナラヌノハ分ッテ居リマスルガ、併ナガラ只今御伺ヒ致シマスノハ、現實ニ這入ッテ來ナイデ、而モ是ハ決シテ架空ナ議論デハナクシテ、職業別、産業別トカ、聯合ノ法人格デアルトカ、協約デアルトカ、罷業權デアルトカ、サウ云フ問題ニ關聯シテ居ルノデアリマスルカラ、ソレ等ニ對シテ政府トシテハ一定ノ理想ヲ持ッテ居ルケレドモ、唯初期ノ組合立法トシテハ、此法案ノ限度ヲ以テ適當トスルノデアアッテ、別個ニ政府トシテハ保護ノ理想ガアルノデアルト云フコトデナイト、私ハ不満足デアリマスルカラ、實ハ其點ヲ御伺ヒ致シテ居ルノデアリマス、無論賢明ナル政府デアリマスルカラ、ソレ等ノコトニ付テハ色々御考ヘニナッテ居ルノデアリマセウガ、本法案ノ修正等ニ響イテハイカヌト云フノデ、恐ラク左様ナルコトヲ申スノヲ留保セラレテ居ルノデアラウト思ヒマスルノデ、其點ニ付テハ此程度ニ質問ヲ止メテ置キマスガ、就テハ本法案ノ中ニ這入ッテ參リマシテ、第一條ノ勞働者ノ範圍ノ事ニ付キマシテハ、原惣兵衛君ヨリ本會議員會ニ於テ、大部詳細ニ涉ッテ御質問ニナッテ居ルヤウデアリマスルガ、政府ノ御答辯トシマシテ

ハ、先般雇傭契約ノ下ニ在ル所ノ筋肉勞働者ト云フコトデアリサウシテ、ソレハ常識的ニ先づ時代ノ社會通念ニ依テ解スルモノダト云フ御言葉デアリマシテ、ソレハソレデ宜シイノデアリマシガ、實際問題トシテ一ツ二ツ御伺ヒ致シタイガ、ソレハ官吏ノ組合ノ問題デゴザイマス、官吏ガ服務規律、私モ官吏ノ經驗ガアリマスルガ、此服務規律トカ、或ハ任用令デアルトカ、官等俸給令デアルトカ、其他資格待遇ニ關スル改善ト云フヤウナ共通ノ利害關係ヲ持ッテ居ル全國ノ官吏ガ、打ッテ一丸トナルト云フヤウナ組合ヲ組織スルト云フコトニ付キマシテ、是ニハ勅任官デアルトカ、親任官ト云フヤウナ方ハ御這入りニナラナクテ、判任官デケデモ宜シイガ、サウ云フヤウナコトハ架空ノ議論デナクシテ、實際起リ得ルト私共ハ信ジマス、又起ルコトヲ實ハ希望スル、地方官ノ如キハ政黨ノ諸君ノ爲ニ大變苦シンデ居ルヤウデアアル、又浮草ト云フヤウナ綽名モアルガ、是等ハ其根柢ニ於テ團結ガナイ爲メデアルト思フ、是等ハ宜シク互ニ團結ヲ鞏固ニシテ、其位地ヲ他カラ容易ク動カスコトガ出來ナイヤウニスルコトガ宜シイト思フ、併ナガラ現狀ニ於テハ是ガ出來ナイ、出來ナイノハ力ガナイカラデアアル、サレバ團結ヲ造ッテ確平タル自己ノ地位ヲ作ッタ方ガ宜イト思フガ、之ニ付テ政府ノ御所見ヲ伺ヒタイ

○長岡政府委員 只今ノ山口君ノ御意見ト相反シテ居ルコトヲ申上ゲルノハ甚ダ恐縮デゴザイマスルガ、政府ノ只今ノ所見ニ依リマスレバ、官吏ハ雇傭關係ノ下ニ立ッ者デナイト考ヘテ居リマス、即チ大權ノ發動ニ依ル任命ノ形式ニ依テ官吏トナルノデゴザイマスルカラシテ、是等ハ今日ノ考デハ政府ニ於テハ勞働者ト認メテ居リマセヌ、又官吏ハ大部分筋肉勞働者デゴザイマセヌカラ、今日ノ勞働者ト云フコトノ中ニハ包含シナイト云フヤウニ御了解ヲ願ヒタイノデアリマス、唯官吏ノ身分ノナイ雇以下ノ者デゴザイマスルガ、而シテ筋肉勞働ニ從事シテ居リマスル者ナラバ、他ノ法規ニ依テ組合加入ヲ認メナイ者ガアラザル限り、ソレハ勞働者ト認メテ差支ナカラウト考ヘテ居リマスルケレドモ、判任官以上ノ官吏ハ、雇傭契約ノ下ニ立ッ筋肉勞働者ト云フ觀念ニハ這入ラヌト考ヘテ居リマスルカラ、今日ニ於テハ官吏ノ組合ト云フモノヲ認メル意思ハゴザイマセヌ

○山口(政)委員 「サラリーメン」ノ組合ニ付キマシテハ、其組合ノ幹部ガ參リマシテ、吾々ノ組合ハドウシテ異レルカト云フヤウナ實際ノ問題ガゴザイマスルガ、是モ或ハ他ノ諸君カラ御尋ガアツタカモ知レヌガ、一昨日起ッタ事柄デアリマスルカラ御尋シテ置キタイ、官吏ガ現在ノ解釋ニ於テ勞働者ニ

這入ラヌト云フコトハ能ク分リマシタガ、此「サラリーメン」ト一般ニ言ッテ居リマスル者ノ「ユニオン」ノアリマスルノハ、ドウ云フヤウニ御取扱ヒニナリマスカ

○長岡政府委員 「サラリーメン」ニ「ユニオン」ト云フモノガ、此頃成立致シマシタコトハ承知致シテ居リマスルガ、是ハマダ勢力ハ微々タルモノデアリマシテ、將來ドウ云フヤウニ發達シテ参リマスルカ、今日デハ豫想ハ困難デゴザイマスルガ、是ハ人々ニ依テ無論其考ハ違フノデアリマスルガ、先ヅ大觀シテ今日ノ社會ノ常識、社會ノ通念カラ申シマシテ、「サラリーメン」ト云フモノヲ勞働者ト云フ觀念ノ中ニハ入レテ居ラヌト十人ガ十人マデ思ッテ居リマセウ、過日ノ木暮君ノ御意見モゴザイマシタガ、今日ノ所謂産業革命以後ノ資本主義組織ノ下ニ在ル俗ニ「プロレタリア」ト申シマスルガ、此觀念ノ中ニ這入ル者ハ、全部一括シテ保護シタラ宜イデヤナイカト云フ御意見モ、無論ハ尊重スベキ御意見ト思ッテ居リマスルガ、併シ先程申上ゲマシタヤウニ、今日ニ於テハ「サラリーメン」ヲ勞働者ト云フヤウニ世間ガ取扱ッテ居リマセズ、又少數ノ人ミヲ除イテハ「サラリーメン」自身モ、自分ハ勞働者デアルト認識シテ居リマセヌノデ、隨ヒマシテ是ガ事實上勞働組合ヲ造ルト云フコトニ對シテ抑壓スルト云フ考ハ何等有

シテ居リマセヌケレドモ、此法案ニ依テ法人格ヲ與ヘルト云フ考ハ持ッテ居リマセヌ

○山口(政)委員 是モ事實上ノ問題デアリマスガ、小學校ノ先生方ノ組合デアリマスケレドモ、只今文部省ノ政府委員ハ參ッテ居ラヌヤウデアリマスカラ、社會局政府委員ノ御答辯ヲ一應伺ヒタイノデアリマス、小學校ノ先生方ガ各村ノ有志デアルトカ、視學デアルトカ、其他督學系統ノ人々カラ屢干渉セラレテ、其地位ヲ危クサレル、ソレガ爲ニ小學校ノ教員ニナルコトヲ嫌ヒ、又轉職者ガ多イ、又生活モ不安デアル、サウシテ小學校ノ先生ガ不足スルト云フコトヲ過日來屢新聞ニ依テ報道セラレテ居ルガ、是等ノ先生方ガ今全國的ニ組合組織ノ途中ニ在ルヤウニ承知シテ居リマスルガ、是等ノ人々ハ社會局長官ノ所謂勞働者ノ定義ニハ當符ラヌカモ知レヌケレドモ、併ナガラ社會局長官ノ所謂勞働者ノ定義ヲ全部是認スルカドウカ、無論此事ヲ御質問スルノハ、吾々ハ勞働者ハ勞働者トシテ、御互ガ解釋スルヤウニ解釋シテモ宜シイト思フノデアリマスガ、唯茲ニ伺フノハ小學校ノ先生ノ組合デアリマス、之ニ付テハドウ云フ考ヲ持ッテ居リマスカ

○長岡政府委員 先程ノ「サラリーメン」・「ユニオン」是ハ現ニ成立シテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、小學校教員ノ組合ナルモノハ成立ノ途上ニ

アルト云フコトニ付テハ能ク承知シテ居リマセヌ、何カ啓明會トカ云フモノガアルト云フコトハ聞イテ居リマスケレドモ、其内容モ實ハハッキリ致シテ居リマセヌ、先程御引用ノ「サラリーメン」・「ユニオン」モ純然タル「サラリーメン」・「ダケデモアリマセズ、神戸ニ於キマスル今ノ「エム・エム・ユー」ト云フ組合ノ如キハ、小賣業者モ大分這入ッテ居ルヤウニ聞イテ居リマスガ、マダ組合トシテソレヲ認メルト云フ域ニモ達シテ居ラヌカノ如ク認メルノデアリマス、小學校ノ教員ニ付キマシテモ——只今

山口君ハ勞働者ノ定義ニ付キ御不滿ガアツタヤウニ伺ヒマシタガ、ソレハ別ト致シマシテ、只今ノ勞働者ノ觀念カラ申シマスルト云フト、小學校ノ教員ノ團結致シマシタ組合ニ對シマシテ、本法ニ依ル勞働組合ナリトシテ法人格ヲ與ヘルト云フ意味ハ持ッテ居リマセヌ

○山口(政)委員 先般本會議ニ於テ伺ヒマシタガ、海員デアリマス、總理大臣ハ海員ニ付テハ勞働組合法ノ外ニ規定ガアツテ、隨テ勞働組合員デアツテモ「ストライキ」ガ出來ナイト云フヤウナ結論ニ達スルト云フ御答辯ガアリマシタガ、此點ニ付テモウ一應御意見ヲ確メテ置キタイト思ヒマス

○長岡政府委員 只今ノ御質問ハ過日內務大臣ヨリ御答申上ゲマシタ通りデゴザイマス、海員ニ付キマシテハ是ハ海上ニ勞働ヲ致シテ居リマス特別ノ自

律關係ヲ要求スルノデゴザイマス、外國等ノ例ヲ見マシテモ、矢張船員ガ航海ノ途中恣ニ下船スルト云フ如キコトハ、船舶ノ運行ヲ不可能ナラシムルト云フ理由ヲ以テ、船員ノ下船ニ付テハ矢張制裁規定ガアルヤウニ承ッテ居リマス、隨ヒマシテ此問題ハ特別法ノ問題トシテ矢張殘ルノデゴザイマス、

是ハ其主務官廳ニ於テ海員法ヲ適當ニ改正シナイ以上ハ、只今ノ特別法ハ矢張此勞働組合法ノ制定ニ依テ效力ヲ失フト云フヤウナコトハ無イト云フヤウニ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○山口(政)委員 勞働組合法案ノ審議ニ當リマシテ、各方面ノ知識ヲ集メラルタ行政調査會ニ於キマシテ、此重大問題ガ勞働組合法案ト關聯シテ論ゼラレナカッタトハ想像出來ナイノデアリマス、何カ秘密ニナサラナケレバナラヌモノナラ別デアリマスガ、唯「ストライキ」ハ今是ヲ禁止シナイ、又處罰スル規定モナイ進ンデ罷業權ヲ認メヤウト云フ途上ニアルノニ、海員ダケハ罷業スルト處罰ヲ受ケルト云フ差別ノ待遇ヲ此上受ケルト云フコトハ、宜シクナイト考ヘマスケレドモ、何等カ此點ニ付テモウ少し立入ッテ伺フコトハイカヌデスカ

○長岡政府委員 只今私ノ申上ゲマシタヤウナコトガ、行政調査會デモ丁度話ガ出タノデアリマシテ、要スルニ海員勞働ニ付テハ特別ノ關係ガアルカラ

シテ、特別法ト一般法ノ規定ニ拘ラズ、其效力ヲ存スルト云フヤウナコトニ話ガ決マツテ居タノデアリマス、同盟罷業ノ事ハ現在ノ治安維持法ニ於テモ、原則トシテ同盟罷業ナルモノヲ罰シテハ居リマセスケレドモ、ソレデモ矢張海員法ノ規定ハ今矢張活キテ居ルノデアリマス、此關係ニ付キマシテハ、前後ヲ問ハズ矢張海員法ノ東縛ヲ海員ハ蒙ツテ居ルト云フコトハ變リナイノデアリマス

○藏園委員長代理 一寸申上ゲマスガ、文部大臣ト文部ノ政務次官ハ貴族院ノ方ニ今行ツテ居ルノデ、一寸來ラレヌサウデアリマスガ、ソレデ窪田政府委員ガ一人參ツテ居ラレマスガ、ソレデ宜シウゴザイマスカ

○山口(政)委員 宜シウゴザイマス、第十條ノ第三號ニ組合聯合會ト云フ文字ガゴザイマス、聯合會ノ法人格ハ之ヲ認メナイト云フコトハ屢質疑應答サレマシタ、私モ能ク其ノ説明ヲ聽イテ居リマスガ、政府ハ現在デモ事實上聯合ヲ認メテ居リマスノデ、無論斯ウ云フ文字ガ出テ來タト云フコトニ不思議ハナイト考ヘマスケレドモ、此組合聯合會ト云フ文字ハ事實上ノ聯合デアルト云フノデスカ、事實其意味デゴザイマスカ——此文字ト附則ノ關係ハ、別ニ無イデスカ——第十四條ニ付テ御尋致シマスルガ、是ハ原君カラ御尋シタノデ能ク分ツテ居リマスガ、労働組合員ヲ

此場合ニ解雇シマスルト云フト、調停法ノ第十九條ニ依テ現ニ爭議ニ關係ナキ者トナルノデアリマスガ、サウナリマスルト云フト、折角政府ノ保護ト云フ此十四條ハ非常ニ惡規定トナツテ之ガ爲メ屢有力ナル者ガ此規定ニ依リマシテ將ニ耐ハナラントスルトキニ減首サレルト云フコトニナリマス、労働組合側ハ非常ニ困ルコトニナツテ保護ドコロデハナイヤウニ思ヒマスガ、其點ヲ伺ヒマス

○長岡政府委員 只今ノ御意見ノ點ハ過日御手許ニ差上ゲマシタ十九條ノ解釋ノ印刷物ヲ御覽下サイマスレバ、労働者ノ解雇ニ付テノ紛議アルトキハ解雇セラレタル労働者ヲ含ム、斯ウ云フ解釋ヲ取ツテ居リマスカラ御心配ハ無イヤウニ思ヒマス

○山口(政)委員 ソレハ解雇ガ紛議ノ原因タル場合ハ御説ノ通りデアリマス、併ナガラ労働爭議ハ常ニ十ガ十迄解雇ガ紛議ノ原因ニハナラヌヤウニ思ヒマス、實際ニ於テハ労働條件ノ維持改善ガ主デアツテ、解雇ト云フヤウナ場合ハソレニ伴フヤウナ場合ガアル、サウシテ見マスルト有力ナル者ガ首ヲ蹴ラレテ、其人ハ働ケヌト云フコトニナレバ、甚ダ困ルコトニナルト考ヘマスルガ、一應御確メラシテ置キタイ

ト云フモノデアレバ、紛議ト云フコトノ解釋カラ、ソレモ關係アルモノト看做シテ差支ナカラウト考ヘマス

○山口(政)委員 爭議調停法第二條ノ通知ノ前後ヲ問ハズト思ヒマスガ、通知後ダケデスカ

○長岡政府委員 其點ハ非常ニ不分明ノヤウニ見エマスケレドモ、先ヅ私ノ解釋ト致シマシテハ、第二條ノ通知ガアツタ前デゴザイマスレバ、其爭議ガ解雇ニ付テノ紛議デアル場合デナケレバ行クマイカト考ヘマス、第二條ノ通知後デアリマスレバ、解雇ニ付テノ紛議デアルト其他ノ紛議デアルトヲ問ハズ、解雇サレタ者モ關係者ト看做ス、斯ウ云フコトヲ申上ゲル外ナカラウト思ヒマス

○山口(政)委員 第十五條デアリマスガ是モ他ノ諸君カラ御尋ガアリマシタガ、殘サレタル問題ガ二點アル、其一ツハ第十五條全體ニ涉リマス、労働組合ノ理事其他ノ代理人ガ其職務ヲ行フニ付テト云フノデアリマシテ、労働爭議ノ起ル場合ニ必ズ理事其他ノ代理人ガ先頭ニ立ツテ罷業ヲ行ヘバ、此條文ハ非常ニ明晰ナ規定ニナリマスガ、併ナガラ實際問題トシテハ、幹部トシテハ此際罷業ハ宜シクナイ、幹部トシテハ辭職スル、又辭職屈ヲ出シタニモ拘ラズ、爭議ハ非常ナ勢ヲ以テ進行スルト云フ場合ニ於テハ、此條文全部ガ死ヌ處ガアリマスガ、如何デスカ

○長岡政府委員 其場合ハ民法ノ四十四條ニ私ハ當筈ラヌト考ヘマス、民法四十四條ハ理事ガ其職務ヲ行フニ付他人ニ生ゼシメタル云々ト云フコトデアリマシテ、只今御引例ニナリマヌヤウニ、平組合員ガ勸誘スルト云フヤウナコトハ四十四條ト離レテ參リマスカラ、之ニ對スル損害賠償ノ請求權ヲ認メテ居ル條文ガ無クナツテシマフト云フヤウニ私ハ解シテ居リマス

○山口(政)委員 サウシマス重大ナル問題ニナリマス、先般來其問題ハ屢單ニ與ヘラレタル條文ニ付テノミ論ゼラレテ居タノデアリマスガ、免責規定デアリマスカラ、吾々ハセメテ此條文ヲ以テ此組合ガ大變良イ規定デアアル、又同盟罷業ハ裏面カラ罷業權ガ認メテアルト云フコトニ解釋シテ居リマシタガ、只今ノ御説明ニ依ルト、理事其他ノ代理人ガ同盟罷業ヲ行ハル場合ノミガ此處ニ入ルノデ、平組合員ガ先頭ニ立ツ場合ニハ民法ノ四十四條ニ關係シナイ、更ニ其場合ニハ損害賠償ノ責ニ任ズルト云フノデスカ、ソレトモ其責ヲ免ズルノデスカ、モウ一遍只今ノ政府委員ノ御説明ヲ伺ヒタイ

○長岡政府委員 其ダ私ハ御答ガ下手デアリマシタガ、何時モ行違ヒラ生ジテ甚ダ恐縮デアリマス、先程申上ゲマシタ趣旨ハ、何故法人タル労働組合ニ賠償ノ責任ガアルカト言ヘバ

〔藏園委員長代理委員長席ヲ退〕

キ森田委員長復席

民法四十四條ガアルカラデアアル、而シテ此條文ガ假ニ無イト致シマス、此十五條ノ規定ガ無イト致シマシテモ、理事以外ノ組合員ガ同盟罷業ヲ勸誘シタ、即チ債務不履行ニ依テ他人ニ損害ヲ被ラセタト云フコトガアリマシテモ、ソレハ賠償ノ責任ハ無イノデス、唯理事ガヤツテ理事ガ債務不履行ヲ勸誘シタ場合ニハ、賠償ノ責任ガ有ルト云フ解釋モ立チ得ルノデアリマシテ、ソレデ之ニ依テ免責シテ置イタノデアリマス、御引例ノヤウナ場合ニハ、民法ノ規定ニ依テモ全然損害賠償ノ責任ハ無イノデアリマス

○山口(政)委員 サウ致シマスト大變好イ御答ヲ得マシタガ、同盟罷業ヲスル場合ニ於キマシテ、幹部ガ總辭職ヲシテ他ノ者ガ罷業ヲ盛ニヤルト云フコトニナリマス、全然罷業免責デスナ——能ク分リマシタ、サウスルト伺ヒタイデスガ、先般藏園君ニ對シテ政府ハ斯ウ云フ御答ヲシテ居ル、此規定ガアツテモ組合員ノ個々ノ者ハ債務不履行ノ責任ニ任ゼシメナケレバナラヌ、唯實際ニ於テハ貧乏ガカラ、ソレハサウ云フ事ハ無カラウト思フ、又實行出來ナイ事ト思フカラト云フ御答ガアリマシタガ、此點ハ議論トシテハ立ツデアリマセウケレドモ、一方ニ於テ罷業其モノヲ罷業權トマデ認メテ居ルトキニ、裏ニハ罷業行為即チ勞務ノ停止ガ債務不履行トナ

ル即チ個々ノ者ハ損害賠償ノ責任ニズル、組合トシテハ此規定ニ依テ損害賠償ノ責任ニ任ジナイ、ツマリ組合ハ損害賠償ノ責ガ無イガ、個々ノ者ハ其責ガ有ルト云フ事ト矛盾シテ來ハシナイカ、是ハ如何デスカ

○長岡政府委員 只今ノ御意見ハ、民法ノ規定ガアル以上ハ、ドウモ議論トシテハ致方ガナイノデアリマス、民法ニハ債務不履行ニ因ル損害賠償ノ責任ト云フモノヲ認メテ居ルノデ、唯法人トシテ、法人ガ賠償ノ責任ニ任ズルト云フコトニ付テハ民法四十四條ノ損害規定ヲ置カスト云フト、事實上同盟罷業ガ不可能ニナルト云フコトカラ、法人トシテハ免責規定ヲ置イタノデアリマス、個々ノ者トシテノ場合ハ此十五條ニ觸レテ居リマセヌ、隨テソレハ民法ノ損害規定ヲ使ッタ宜カラウ、少クモ同盟罷業ノ場合ニハ當箱ヲスカト、斯ウ云フ御意見ナラバ、是ハ別個ノ問題ニナリマス、第十五條ト離レテ別ニ個個ノ罷業ニ參加シタ者モ債務不履行ノ責任ニ任ジナイト云フ規定ヲ置ケト、斯ウ云フコトニ承ル外ナイノデアリマス、サウナルト意見ノ相違ト云フコトヲ申上ゲル外アリマセヌ

○山口(政)委員 サウシマスト唯別個ノ問題トシテ伺ヒタイ、ソレハ表カラ見ルト同盟罷業デアアル、特別法ヲ作ッテ同盟罷業トシテ免責サレテ居ル、併シ其個々ノ者ノ行為ハ民法上賠償ノ責ガア

ル、斯ウ云フ御説明ニナルト考ヘマス、此規定トハ別個ノ問題ダト、大變御言葉ダケハハッキリシマシタガ、此規定ガ一體罷業權ヲ認メル積リデアリマセウカ、罷業權トハ書イテナイケレドモ、罷業權トシテ御認ニナルノデアルナラバ、私ノ言フノハ特別法ガ優先シテ行ハレ

ルノデアアルカラ、民法ノ規定ハ當然適用サレナイト思フ、其點ニ付テ御伺致シタイ、詰リ罷業權トシテ見レバ、勞務ノ停廢ハ即チ罷業デアアル、個々ノ者ノ停廢ハ民法ノ規定デハ賠償ノ規定ガアリマスケレドモ、特別法ガ優先シテ行ハレ、バ、此規定ニ依テ個人ノ損害ハ無イト云フ風ニ解釋シナイト、甚ダ法理上一貫シテ居ナイコトニナル、併シソレハ別個ノ問題ニナル、唯此規定ニアルノハ恩惠デアアル、權利デヤナイガ、個々ノ者ハ損害賠償ノ責任ニ任ズルト云フコトニナルト、極メテ了解ニ苦シムコトニナリマス、モウ一遍ダケ此點ニ付テ深切ナ御説明ヲ願ヒタイ

○長岡政府委員 只今ノ御意見ナリ御議論ハ、同盟罷業ヲ權利ナリトシテ罷業權ヲ認メルナラバト云フ御前提、御假定ノ下ノ御結論ノヤウニ拜承致シマシタガ、此點ニ付テハ明ニ内務大臣ガ本會議ノ席上デ申サレタ如ク、只今政府ハ同盟罷業ヲ權利行爲トモ見テ居リマセヌ、之ヲ罪惡ナリトモ見テ居リマセヌ、先ヅ是ハ放任行為位ノ程度ニ見テ居ルト云フコトハ、内務大臣ヨリ繰返

シテ二回マデモ申上ゲテアルト思ヒマス、從テ罷業權ヲ權利トシテ認メテ居リマセヌケレバ、只今ノ御結論ハ出テ來スト思ヒマス、而シ實際問題トシテ御考ヘニナルト、非常ニ山口君ハ法理的ニ潔癖ナ御立論ニナリマスケレドモ、個々ノ組合員ニ對シテ、同盟罷業ノ際ニ損害賠償ヲ請求スルト云フコトハ、實際出來モシマセヌケレバ、又今マデヤツタ例モアリマセヌシ、唯事實問題トシテ考ヘマスレバ、將來ニ於テ財産ノナイ組合ヲ相手取ッテ生存權ノ訴訟ヲ起スヤウナコトハ、先ヅ想像ノ外ニ置イテ戴イテモ不都合ハナカラウト思ヒマス

○山口(政)委員 ソレデハ前提ノ——即チ罷業ガ權利ナリヤ否ヤト云フ其前提ノ相違デアルト云フコトデ、不幸ニシテ其點ハ放任行為ガカラ、放任行為ニ對シテ特ニ第十五條ノ恩惠的ナ免責規定ガアルト云フ程度ノ御説明ナラバ、個々ノ問題ハ民法ニ讓ルト云フコトモ已ムヲ得ナイト思ヒマス、就キマシテモウ一點御伺致シマシテ私ノ質疑ヲ打切リタイト考ヘマス、組合ノ保護ノコトハ承リマシタガ、勞働組合ノ取締ト云フヤウナコトニ付テ、實際ドウ云フコトヲヤツテ居リマスカ、一寸現在ノ實狀ヲ伺ヒタイ

○長岡政府委員 現在警察的ノ取締ハ殆ド致シテ居ラヌヤウニ考ヘテ居リマス、別段無イサウデス

○山口政府委員 勞働組合ノ直接ノ取締ガナケレバ、實際勞働爭議ノ勃發シタ場合ニ於テ、政府ハドウ云フ風ニ扱ッテ居リマス、其點ヲ伺ヒタイ

○長岡政府委員 只今ノ御質問ニ付キマシテハ、治安警察法十七條ニ出テ居リマス、是ハ誘惑煽動ヲ禁ジテ居リマス、是ハ適用ニ付キマシテハ、近頃非常ニ手心ヲ加ヘテ居リマス、ソレデ此起訴放棄ニ付テハ實ハ私内々知テハ居リマス、假令秘密會ノ席デモ司法省ハ御答シニクカラウト思ヒマスガ、兎ニ角餘程寛大ニナッテ居リマシテ、第十七條ノ檢舉數ト云フヤウナコトハ、過日表ニ依テモ差上ゲマシタガ、餘リ無暗ニ起訴シナイト云フ方針デヤッテ居リマス、尙ホ取締ノ方針デアリマスガ、是ハ大體ノ方針ハ治安警察法ノ十七條ニ觸レザル限り、無論干涉ガマシイ事ハ避ケテ居リマス、漸々政府トシテ魔ノ手ヲ伸バスト云フ御言葉ガ出マシタガ、其文字ヲ拜借シマス、決シテサウ云フ事ハ致シテ居リマセヌ、唯眞正直ニ申上ゲマスガ、多少地方地方ニ依テ官吏ノ頭ガ變リマスカラ、極ク田舎ノ警察官ダケハ此方針ニビッタリ合ハスト云フ事ヲヤルカモ知レマセヌガ、併シソレハ政府ノ本意デハナイ、治安警察法ノ十七條ニ觸レザル限り、同盟罷業ニ對シテ壓迫のナ事ハ致シテ居リマセヌ、併シ適當ナ時期ニ仲裁スルト云フヤウナコトハ何處マデモ致シ

テ居リマス

○山口(政)委員 政府ノ本案提案ノ理由ヲ拜見致シマス、組合運動ニ一定ノ基準ヲ與ヘテ、之ヲ秩序のナラシムルト云ッテ居ル、サウ致シマス、只今ノ言葉デハ、今マデハ少シモ取締ヲシテ居ナイト云フヤウナ言葉ト伺ヒマシタガ、今度ハ之ヲ秩序のナラシムル、サウシテ基準ヲ與ヘルト云フヤウナ御言葉カラ申スト、斯ウ何トナク今マデト違テ、若クハ今マデヨリモヨリ以上取締ヲスルト云フヤウナコトヲ、是ハ暗示サレテ居ルヤウニ思フ、事實此全編ヲ通ジテ三十六條、二三箇條ノ外ハ、總テ拘束ト取締ノ規定デゴザイマス、無論御理想トシテノ法案デナイトハ存ジマスケレドモ、先ヅ時代相應ノ法案ト致シマシテ出サレタト云フ此法案ガ、現實問題トシテサウ云フ状態ニナッテ居リマス、サウシテ見マスルト、此勞働組合ニ對スル政府ハ取締ト云フコトヲ大變ニ御嫌ヒニナッテ、初カラ取締デハナイ、保護ダト云ウテ居ラレマスガ、矢張相當ニ此取締ト云フコトヲ現在ヤッテ居ルノデハアリマセヌカ、餘リ執拗ナヤウデスガ、現ニ府縣令ノ如キハ、埼玉縣其他ノ府縣ニテハ、警察命令即チ明治二十三年法律第八十四號ニ基ク規定ヲ以テ、三人以上連行シテハイケナイトカ、五人以上連行シテハイカヌトカ、今ハッキリ覺エテ居リマセヌガ、連行シタ

者ハ何圓以下ノ罰金ニ處スト云フヤウナコトガ行ハレテ居リマス、例ヘバ川口ノ爭議等ノ場合ハ之ヲヤラウトスルト、警察官ガ壓迫取締ヲスルコトガ出來ル、サウ云フヤウナ規定ガ各府縣ニアルラシイ、取締ノ要アルベキ場合ハ取締ハ差支ナイ、又サウ云フ事ハ取締ツテモ宜イト思フ、併ナガラ保護ト云フ言葉ヲ以テ取締ルト云フヤウナコトハ、餘リ面白クナイト思ヒマス、此點ヲモウ一遍伺ッテ置キマス

○長岡政府委員 只今御朗讀ノ提案理由ハサウ取締のニ聞エマセウカ、依ルベキ基準ヲ與ヘ、秩序のナラシムル、基準ト云フコトノ反對ハ無方針、秩序の反對ハ亂雜、不秩序ト云フコトニナルノデアッテ、此方針ヲ與ヘテ運動ヲシテモ亂雜デナイ、秩序のナラシムルト云フヤウナコトガ、保護の意義ニ御解釋ニナッテ差支ナイト思フ、殊ニ勞働組合ノ中デモ、組合ノ發達ノ爲ニ、基準ヲ示ス法ヲ作ッテ吳レナント云フ要求ヲシテ來テ居ルモノモアル、是ハ準取締ノ意味ヲ現シタト云フヤウニ御解釋ノヤウデゴザイマシタガ、モウ少シ寛大ニ御讀ミテ願ヒタイ、ソレカラ府縣令ノ事ガ出マシタガ、是ハマア御尤ノ點ガアルヤウニ存ジマス、此點ニ付キマシテハ過日上官カラ御答ヘ申シマシタ通り、此法案ガ通過致シマスレバ、相當ノ機會ニ府縣令ハ整理サセタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス

○山口(政)委員 是モ關聯シタ問題デスガ、現在治安警察法第十七條ヲ適用スルニ當リマシテ、政府ハ此勞働爭議ノ場合ニデスナ、此治安警察法ノ第十七條ト一般刑法トノ關係ヲ、ドウ云フ風ニシテ御取扱ニナッテ居リマス、其點ヲ御伺ヒシタイ、詰リ治安警察法第十七條ハ、一般刑法ニ對シテ特別法デアルカドウデアルカ、又實際ノ適用上ニ於テハソレヲ特別法トシテ取扱ッテ居ルカドウカ、其點デゴザイマス

○八並政府委員 無論ナンデス、治安警察法第十七條ハ警察法ノ特別法トシテ、現在取扱ッテ居ルノデアリマス

○山口(政)委員 治安警察法第十七條ヲ特別法トシテ現在ニ於テモ取扱ッテ居ルト云フコトデアリマスガ、此檢舉調ベニ依リマス、騷擾罪及ビ同罪トノ併合罪ニ依ルモノガ人員ニ於テ二千八百六十六人デ、治安警察法第十七條ニ依ルモノガ千百二十人、非常ニ澤山此騷擾罪ノ適用ヲ見テ居ルノデアリマス、特別法トシテ取扱ッテ居ルト云フコトデアルナラバ、無論是ハ明細ノ事ハ分リマセヌケレドモ、治安警察法第十七條ノ適用ガ少クテ、騷擾罪ノ適用ガコンナニ多イト云フコトハ、私共了解ニ苦シムノデアリマス、其點ヲ御伺ヒシタイ

○八並政府委員 今山口君ノ御質問ハ、騷擾罪ノ方ガ數ガ多イト云フノデアリマス

○山口(政)委員 非常ニ多イト云フノデス

○八並政府委員 非常ニ多イ——ソレハ要スルニ其時ノ事情ニ應ジテ例ヘバ騷擾罪ノ要件ニナル場合ト、ソレカラ治安警察法第十七條ニナルトキノ要件ガ違フテ居ル、ソレデ其程度ガ——騷擾罪デハ多數集合シテ、暴行、脅迫ヲ以テ地方ノ靜謐ヲ害スルト云フ狀況ニナッタ場合ガ多ク私ハ思フ、是ハ事實問題トシテハサウデアル、而シテ治安警察法ノ問題ト符合シタ場合、事實問題トシテ取締ルト云フコトヲ御答スル外ナイト信ジテ居リマス

○山口(政)委員 是ハ實際ノ重大ナコト、考ヘマスガ、治安警察法十七條ガ無クナレバ斯ウ云フ場合ニハ一層騷擾罪ヲ適用サレルト思ヒマス、十七條ノ撤廢ハ多年ノ要求デアツテ、勞働者モンレヲ希望シテ居ッタ、而シテ十七條ヲ除イタ結果、全部騷擾罪ニ行ツテシマフノモ困ル、今政府委員ハ要件ガ違フト言ツテ居ラレマスガ、サウ云フ爭議ノ場合ニハ、多數ノ者ガ集マツテ稍暴行脅迫ガ伴フ場合ガアル、騷擾罪ノ場合モ多數ガ集マツテ暴行脅迫ガ伴フ、要件ハ別ニ違ハナイ、サウスルト是ハ非常ナ問題ニナルト思フ、モウ一遍御答辯ヲ願ヒマス

○八並政府委員 或ハ觀ヤウニ依テハ、サウ云フ御見解ガアルカ知レマセヌガ、要件程度ガ餘程異ツテ居ルト思フノ

デアリマス、例ヘバ勞働爭議ノヤウナ問題ノ場合ニモ、多數集マツテ暴行脅迫ヲ加ヘル場合ガナイトハ申サレマセヌ、併ナガラ騷擾罪ニ依テ罰スベキ程度マデ、ソレガ進ンデ居ルカト云フコトハ、是ハ事實問題トシテ相當考慮スベキモノデアルト思フ

○山口(政)委員 詰リサウ致シマスルト、要件ハ違フテ居ナイト云フコトニナラウト思フ、程度問題ト云フコトニ今了承致シマシタガ、私別ニ法律論ヲスル譯デハアリマセヌケレドモ、サウ云フコトニナツテ參リマスルト、非常ニ不安ニ堪ヘナイ、御承知ノ通り治安警察法ハ一年以下ノ懲役デアルガ、騷擾罪ニナルト十年以下マデ行ケル、サウ云フヤウナ重大ナル關係ガアルノニ、程度ノ相違ト云フコトニナツテ、手心若クハ裁判官ノ認定ニ依ルト云フコトニナルト、大變ナ問題ニナルト思ヒマスカラ、モウ一遍伺ヒマス

○八並政府委員 只今ノ御答ハ或ハ明確ヲ缺イテ居タカト思ヒマスカラ、モウ一度能ク申上ゲマスガ、程度ト云フコトハ或ハ語弊ガアツタカトモ思フノデアリマスガ、要スルニ騷擾罪ノ方ハ、地方ノ靜謐ヲ害スルト云フノガ要件ノ大ナルモノニナツテ居リマス、ソコデ勞働爭議ナルモノハ、一工場内ニ於テ騷擾ノ行爲ノアツタ場合ニ、是ガ騷擾トナルカナラヌカト云フコトニ付テハ、相當考慮スベキデアルト思フ、其點

ニ付テ只今言葉ノ言ヒ廻シガ惡カッタカト思ヒマスガ、之ヲ程度ト云フコトニ申上ゲタノデアリマスガ、要スルニ地方ノ靜謐ヲ害スルヤ否ヤト云フコトガ騷擾罪ノ要件ニナルト思フノデアリマス

○山口(政)委員 ドウモ——政府委員ニ特ニ御教ヘ申上ゲルノデハアリマセヌガ、騷擾罪ノ要件ト云フノハ、八並政府委員ハ舊刑法時代ノコトヲ言ツテ居ラレルヤウデアリマス、私ノ了解スル所デハ、新刑法ノ下ニ於テ、又判例等モ別ニ地方ノ靜謐ニ關係スルコトヲ要件トハ致シテ居リマセヌ、全ク程度問題、手心ノ問題デ、之ヲ騷擾罪ニ間ハント欲スレバ問ヒ得ル、之ヲ治安警察法ニ依ラントスレバ依リ得ル、左様ナ次第デアリマシテ、治安警察法第十七條ノ廢止ヲ喜ブ瞬間ニ於テ、吾々ハサウ云フ不安ニ驅ラレルノデアリマス、此點ニ於テハ百ノ組合立法ヲ致シマシテモ、實際ノ取締ニ當リマシテ、手心ニ依テ非常ニ刑罰ニ相違ガ出來ルヤウナ虞ノアル點ニ付キマシテハ、政府ニ於テモ十分ニ御調ベノ上御答辯ヲ願ヒタイト考ヘマス

○鈴木政府委員 只今ノ御質問ニ付キマシテ、一寸私カラ申上ゲテ置ク方ガ宜カラウト思ヒマス、治安警察法ガ刑法ノ特別法デアルト云フコトハ、八並政府委員カラ申上ゲタ通りデアリマス、而シテ治安警察法ニアリマス暴行

脅迫ノ點、是ハ刑法ニ在ル暴行罪、刑法ニ在ル脅迫罪ノ是ハ特別法ト云フ趣旨ニ解釋シテ然ルベキモノデアルト思フ、騷擾罪ニナルト少シ性質ガ違フテ來ルト思ヒマス、故ニ今日マデ斯様ニ法ノ適用ヲシテ居ッタ次第デアリマス、即チ之ヲ極ク明白ニ申シマスルト、治安警察法第十七條ノ暴行デ以テ罰スル場合ニ於テハ、刑法二百八條ノ暴行罪デハ罰シナイ、又治安警察法十八條ノ脅迫罪デ罰スル場合ニハ、刑法二百二十二條ノ脅迫罪デハ罰シナイ、此意味ニ於テ普通法ト特別法ノ關係ヲ持ツノデアリマシテ、騷擾罪デアリマスルト大分性質ガ違フテ來マスカラ、是ハ八並政府委員カラ御答ヘ申上ゲマシタ通り、ドウモ已ムヲ得ナイコトデアラウカト思ヒマス

○山口(政)委員 大體分リマシタガ、此治安警察法第十七條ノ廢止ト、今後ノ檢舉若クハ處罰方針ト云フコトニ付テハ、是ハ一回ノ質問デ分ルベキ性質ノモノデハゴザイマセヌ、又色々特別法ト一般法ノ關係モアリマセウシ、又騷擾罪ノ性質モアリマセウシ、又判例等モアリマスカラ、色々ノ方面カラ政府ニ於テモ此點ヲ十分御研究ニナルコトヲ希望致シマシテ、此點ヲ打切りマス、尙ホ爭議調停法ノ方ニ移ツテ御尋申上ゲマスガ、第十七條ニ「行政官廳ハ前條ノ規定ニ依ル報告ノ要旨ヲ公表スヘシ但シ勞働爭議解決シタル場合ニ於テ當事

者一方ノ選定シタル委員全員カ豫メ反對ノ意思ヲ表示シタルトキハ此ノ限ニ在ラストアリマス、資本家ノ三人ノ委員ガ豫メ公表ヲ拒ミマス場合ニハ、此規定ニ依テ公表ガ出來ナクナル、此十七條ハ置クモ、置カザルモ、其場合同ジ結果ニナル、此點ニ付テ御考ヲ承リタイ

○長岡政府委員 但書ハ爭議ノ解決シタ場合デアリマシテ、本文ハ解決シタ場合ト解決シナイ場合ト兩方含ンデ居リマスカラ、解決シナイ場合ニハ要旨ヲ公表シナケレバナラスノデアリマス、是ハ輿論ノ判斷ニ訴ヘ、當事者ヲシテ反省セシムル機會ヲ造ル爲ニ、此規定ヲ置イタルデアリマスガ、爭議ガ解決シテ手打ガ濟ンダ、其折角手打ノ濟ンダモノニ、其内容ヲ明ルミニ出スト云フコトハ好マナイ當事者ガアルナラバ、既ニ調停案ハ兩方ガ承知シタルデアリマスカラ、此場合強ヒテ公表サセル必要ハナカラウ、斯ウ云フ趣旨デアリマス

○山口(政)委員 能ク分リマシタガ、要旨ヲ公表スベシト云フノガ是ガ原則デアリマス、此但書ノ適用サレル場合ハ、多クハ資本家ノ委員ガ反對シタ場合デアラウト私ハ想像シマス、サウ想像スルノデアリマスガ、其場合ニ於テ、公表スルコトガ出來ナクナルト云フコトニナツテハ、寧ロ公表スベシト云フ原則ニ悖ルノデ、公表サセル方ガ宜イ、將來ノ鑑ニナルノデアリマスカラ、輿論ニ問ウタガ宜イ、其意味デ御尋シタルデアリマス

○長岡政府委員 如何デゴザイマセウカ、爭議ガ折角圓滿ニ解決シテ——シナイ場合ハ仕方ガアリマセヌケレドモ、解決シテ爭議ノ公表ヲサレテハ困ルト、片方デサウ言ツタモノヲ、無理ニソレデモ何デモ公表シロト云ツテ、法律デ命ズル必要ガアリマセウカ、ソコマデ強ク御シヤラナクテモ宜カラウト思ヒマシガ……

○山口(政)委員 能ク其點ハ御説明ヲ承リマシタ、最後ニ第十九條ニ付キマシテ、清瀬君ガ御尋シタ點デ、能ク分ラナカッタノデアリマスガ、爭議ノ調停中デモ罷業ハ繼續シテ居ル、其繼續致シテ居ルモノヲ、罷業ヲ勸誘スルト云フコトハ分ラナイ、是ハ清瀬君ガ伺ヒマシテ、後デ清瀬君ト話ヲシタルデアリマスガ、此大切ナル條文ガ無意味ニナルノデアリマスガ、其點ヲ御伺ヒシマシマス

○長岡政府委員 爭議ノ調停ガ始マリマシテモ、結束ヲ保ツ上カラ爭議團ニ加ハツテ居ル者モ矢張勸誘スルコトモゴザイマセウ、又罷業狀況ニ至ラナイコトモゴザイマス、勞働條件ニ對シテ爭ガ起ツテ居ル、併シマダ業ヲ休ムト云フ狀態ニナツテ居ラヌコトモアリマス、其場合ニ爭議團ノ者ヲ勸誘シテハイカヌト言フコトデアリマスカラ、格別矛盾ハナイヤウニ考ヘマス

○山口(政)委員 私ノ質問ハ是デ打切リマス

○森田委員長 ソレデハ斯ウ云フコトニ致シマセウカ、午後一時カラ開會スルコトニ致シマシテ、本會議ノ都合モアリマスカラ、尙ホ本會議デ私カラ皆サンニ御集リヲ願ヒタイト云フコトヲ申上グルコトニ致シマス、サウ云フコトニ願ヒマス

午前十一時五十一分休憩

午後一時五十九分開議

○森田委員長 ソレデハ午前ニ引續イテ開會ヲ致シマス、渡邊伍君

○渡邊委員 私ハ成ベク簡單ニ質問ヲ致シマス、サウ致シマシテ私ノ御伺ヒ致シタイコトハ、大體官業勞働者ニ關係スルモノ、ミデアリマス、從テ事實ノ問題ヲ御聞キシタイト云フ積リデアリマスカラ、本案トハ多少間接ナ關係ニナルモノガアルカモ知レマセヌケレドモ、矢張勞働關係ノモノデアツテ、サウシテ社會局ニ於テ矢張御取扱ニナツテ居ルモノト思ヒマスカラ、多少間接ナモノデモ御答辯ヲ願ヒタイト思フ、第一ニ御聞キ致シタイコトハ、此法案ガ全般ノ勞働者ニ對シテ餘リニ受ケノ好クナイト云フコトハ私ノミノ申上グルコトデナイト思ヒマスカラ、特ニ官業勞働者ニ對シテハ、法案其モノ、全部ニ對シ餘リニ満足ヲシナイ上ニ、民間ノ勞働者ト官業勞働者ガ多少其取扱ノ區別ヲ

受ケテ居ルト云フコトガ、官業勞働者ノ本案ニ對スル非難ノヤウニ聞エルノデアリマス、ソレハ度々質問應答ガアリマシテ、明カナ事實ニナツテ居リマスルガ、團體協約ノ規定ハ他ノ單行法デ出ル、併ナガラ本規定ニ於テ團體交渉權ト云フモノヲ認メテ居ラナイノデハナイ、是ハ事實ニ於テ出來得ルヤウニナツテ居ルノデアル、即チ爭議團體ノ幹部ガ其資本主及企業者ト直接ニ交渉シ得ルノデアルカラ、是ハ認メテ居ナイノデハナイ、斯ウ云フ政府ノ御答辯ナノデアリマスガ、サウ致シマスト官業勞働者ノ方ニ於テハ非常ニ困ツタ場合ガ出テ參ル、普通ノ民間ノ勞働者デハ不完全ナガラモ此交渉ガ出來ルカモ知レマセヌガ、官業勞働者ハ總テ他ノ取締或ハ其他ノ規則ニ於テ、民間勞働者ヨリモ拘束ヲ受ケテ居ルモノデアリマスカラ、實際ニ法律デ認メテヤラナイ場合ニハ、其幹部ト申シマスカ、詰リ爭議團ノ當事者ニ於キマシテ、勞働者團體ノ代表者、詰リ幹部ト云フモノガ是ハ出來ルカモ知レマセヌガ、雇傭關係ト云フモノガ國家ト云フモノニナツテ居ル場合ニハ、其當事者ト云フモノガドウ云フ風ニナツテ居ルカ、誰ト交渉シタラ宜イカ、斯ウ云フ疑ガ起ツテ參リマス、此御尋ヲ致シマスノハ、斯ウ云フ實際ノ場合ニ於テ

〔森田委員長委員長席ヲ退キ、藏園理事代リ著席〕

誰ト誰トガ當事者デアッテ、交渉致シテ宜イノデアルカト云フコトガ、一寸分リ兼ネルノデ、之ヲ御問ヒ致シマス、尙ホ其他ニ於テ軍屬ノ關係等ニ於キマシテ、官業勞働者ハ民間ノ勞働者ヨリモ非常ニ制限ヲ受ケテ居ルヤウニナッテ居ル、是等ノ區別ノ御取扱ヲナサレルヤウニナツタコトニハ、何等カ其間ニ意義ノアルコトデアルカ、若シ理由アリトスレバソレヲ承リタイ、先ヅ此點ヲ一ツ御伺シタイ

○長岡政府委員 第一ノ御質問ハ當事者ノ事ト思ヒマス、ソレハソレト、法規ニ依リマシテ、國ノ代表者トシテ訴訟行爲其他ノ點ニ於テ規定ガゴザイマス、例ヘテ申シマスレバ、海軍工廠デアリマスレバ工廠長トカ云フヤウナモノガ、其當事者ニナルコト、考ヘマス、第二ノハ一寸失禮デゴザイマシタガ伺ヒ漏ラシマシテ申譯ゴザイマセヌガ、モ一度御願致シマス

○渡邊委員 ソレト第一ヲ繼續シテ申上ゲマスガ、私斯ウ云フ場合ニ付テ疑問ガ起リマス、海軍デアリマシタラ鎮守府司令長官ニナリマス、爭議問題ト云フモノガ、普通ノ問題ノ場合ニハ或ハ交渉シ得ルカモ知レマセヌガ、賃銀値上問題ナドニナルト、事ガ豫算ニ關係シテ來ルノデアリマス、サウ致シマスルト鎮守府長官ト交渉致シマシテモ、事實ニ於テ鎮守府長官ガ豫算ノ問題ヲ解決スルコトハ出來ナイト思ヒマ

ス、唯形式ノ上デ鎮守府長官ト交渉致シマシテモ、實質ヲ得ラレナイ當事者ト云フモノデハ、所謂官業勞働ニ對スル解決ハ出來ナカラウト思ヒマス

○長岡政府委員 只今ノ問題ハ實際問題トシテ御説ノヤウナ事ガ起ルダラウト思ヒマス、利益ヲ擧ゲテ居リマス所ノ……

〔藏園委員長代理、委員長席ヲ退キ、山口(政)理事代リ著席〕

個人經營或ハ株式會社トハ違ヒマシテ、官設工場ハ收入ガ國家ノ收入ニナリマス、支出ト云フ問題ニ付テハ一々議會ノ協賛ヲ經テ豫算デ定ツタモノ以外ニハ爲スコトガ出來マセヌカラ、隨テ賃銀ノ値上要求等ニ付キマシテハ、議會ノ御協賛ヲ經テ豫算ガ通過スルマデハ工廠長其他單獨ノ考ヲ以テ直ニ約束スルト云フコトハ出來モシマセヌシ、又約束ヲ致シマシテモ議會ノ協賛ヲ得ナケレバ其實行ハ出來ナイ譯デアリマスガ、併シ是ハ總テノ官業工場ニ付テ悉ク然リトハ申上ゲ兼ネマスガ、大體ニ於テ先ヅ民間ノ工場ト甚シキ待遇ノ相違ガナイヤウニト云フコトハ、先ヅ各工場共ニソレト、注意シテ居リマスケレドモ、打明ケテ申シマスレバ其他ニモ困ル場合ハ實際アルノデアリマス、現ニ私只今ノ職ニ就キマシタノハ僅カ一年前デアリマスガ、其前ニハ土木ノ方ノ仕事ヲ御引受シテ居リマシテ、多數ノ勞働者ヲ使ッテ居リマシタ、例ヘバ

横濱デ數千人ノ人夫ヲ使ッテ居ル、神戸デ使ッテ居ル、斯ウ云フ場合ニ他ノ工場ト賃銀ダケハ先ヅ平均ヲ取ルヤウニ注意シテ居リマシテモ、詰ラナイコトヲ申サユデアリマスガ、他ノ工場デハ先ヅ春ニナレバ花見ヲサセルトカ、秋ニナレバ慰安會ヲヤルトカ、云フヤウナコトデ中ニ慰安設備ニ金ヲ使ヒ得ルノデアリマスケレドモ、官業ニナリマスト、御承知ノ通り土木局長ガ自腹ヲ切ルダケノ餘裕モアリマセヌ、餘所デハ能ク遊び居ルケレドモ、官業デハ其儘ニシテ置クト云フヤウナコトガ免レマセヌ、是ハ實情ヲ申上ゲタ次第デアリマスガ、併シ官業デアアルカト申シマシテ、條件ヲ惡クスルト云フコトハ宜シクナイコトデアリマスカラ、先ヅ其點ニ付キマシテハ將來共、各廠各工場成ベク協定ヲ致シマシテ、其土地ニ在ル附近ノ工場其他ト待遇ノ甚シキ懸隔ノナイヤウニ注意シテ行ク外ハナイ、此位ノ事シカ申上ゲル材料ガナイ譯デアリマス

○渡邊委員 實ハ取扱ヒノ點ニ付キマシテモ色々ノ不公平ナ點ガアルノデアリマスガ、只今ノ事ヨリモモウ一ツ困ル事ハ、官廳ニ於テハ總テ法律ニ準據シテ行動シテ行カル、ノデアリマスカラ、實際此團體交渉權ヲ法律デ認メテヤラナケレバ、組合ノ幹部ガ交渉致シマス際ニ、權限問題ガ起ツタラバ、ドウシテモ實際ノ交渉ガ出來ナイト思ヒマ

ス、其點ハ權限アルモノトシテ御取扱ヒニナルモノデアリマセウカ

○長岡政府委員 法制ノ問題ト致シマシテハ、矢張權限ガアルト云フ解釋ニナルト思ヒマスケレドモ、事實問題ト致シテハ先程私ガ白狀致シマシタヤウニ、獨斷デ工場長工廠長ト約束ヲ致シマシテモ、議會ノ協賛ガナケレバ如何トモ致方ガナイコトデアリマスカラ、事實サウ云フ場合ニハ成ベク爭議ノ起ラナイヤウニ、官業ニ於テモ先手ヲ打ッテ先ヅ優遇ニ近い待遇ヲ致シ、又ソレデハイカヌ場合ニハ、工廠長トシテ全力ヲ盡シテ豫算ノ通過ヲ圖ルヤウニ努力スル位ニシカ方法ガ、實際ノ所ヲ白狀致シマス、トナカラウト思ヒマス、併シ是ハ日本ダケノ問題デハナク、立憲政體ノ國ニ於テハ、議會ノ御協賛ガナケレバ豫算等ハ成立致シマセヌシ、ソレカラ其他ノ——賃銀ノ問題ハ別ニ致シマシテ、共濟的施設扶助等ノ事ニ付テハ、官業ニ於テハ民間ノ工場ニ負ケナイ位ニ優遇ハ致シテ居リマス、今回ノ改正工場法ヲ施行ニナリマシテモ、官業デハ豫算ヲ増加シナクテモ好イ位ノ優遇ヲ先ニ致シテ居リマス、併シ是ハ扶助共濟ノ問題デゴザイマシテ、賃銀ニ付キマシテハ、總テノ官設工場ハ民間ノ工場ヨリ優ッテ居ルト申上ゲ得ナイノハ非常ニ遺憾トスル所デアリマス

○渡邊委員 只今共濟ノ御話ガアリマ

シタノデ、其御話ノ序デニ詳シク聞イ
テ置キタイノデゴデイマスガ、組合法
ノ二條ノ共濟ノ問題デゴザイマス、之
ニ付キマシテハ御説ノ如ク各官業勞働
組合ニハ共濟組合ガアリマシテ、其共
濟組合デ救助ノ方法ヲ執ツテ居ルノデ
アリマスガ、勞働組合法ガ若シ成ルト
スレバ、單ニ第二條ノ一項ノミノ組合
デハナクシテ、多ク實際ノ場合ニ於テ
二項ヲ含ンデ其脱退ヲ防グ必要ガ起ッ
テ來ルカラ、ドウシテモ一項ト二項ト
一緒ニナル組合ガ出來ル、サウ致シマ
スト、官業勞働者、海軍、陸軍、鐵道等ニ
共濟組合ガアリマスガ、其共濟組合ノ
規定ト、第二項ノ規定ガ全ク重ナッテ參
ル、併シ共濟組合ニハ單ニ勞働者ノミ
デナク、職員モ這入ッテ居ルカラ、多少
範圍ガ廣イト云フ御辯明モアルカモ知
レマセヌガ、大體ニ於テ職工ガ基本ヲ
成シテ出來上ッテ居ルノデアリマスカ
ラ、殆ト同ジモノガ出來上ルダラウト
思フ、其際ニ政府ハ勞働組合ガ立派ニ
出來上ッタ、各工場ニ於テ實ハ今日デモ
大體勞働組合ラシイモノガ出來テ居ル
ノデアリマスカラ、法規ニ依テ登記ヲ
致シマスレバ直グ立派ナ組合ニナルダ
ラウト思フ、サウスルト勅令ニ依テ出
來テ居ル共濟組合ト、共濟ノ方面ガ全
然合致スル——ソレハ合致スルノハ宜
イノデアリマスケレドモ、併シ之ニハ
掛金ヲ要スル、共濟組合ニハ御存知ノ
如ク各自ノ給料三十日分ノ百分ノ五乃

至六ヲ每月積立テ、居ル、其費用モ要
ルシ、又勞働組合ノ方ニモ矢張費用ガ
要ルト云フ二重ノ負擔ニナッテ參リマ
スト、僅カナ日給ヲ取ッテ居ル官業勞働
者トシテハ、甚ダ苦痛デハナカラウカ、
之ヲ矢張二重ニ政府ハ置カル、積リデ
アルカ、又之ヲ統一シテ何トカサレル
考ガアリマスガ、ソレヲ御伺シタイ
○長岡政府委員 只今ノ問題ハ其組合
ノ希望ニ大體委セテ差支ナカラウト思
フ、即チ二様ニシタイモノハ二様ニシ
テモ宜シ、現ニ海軍ノ如キハ勅令ニ依
ル共濟組合ト、勞働組合ト別々ニ出來
テ居リマス、共濟組合ノ方ニハ掛金モ
取リマスガ、可ナリノ額ヲ政府或ハ公
共團體ノ方カラ補助ヲ致シテ居ル、是
ト別ニヤッテモ差支ナイト思ヒマス
ケレドモ、中ニハ勅令ニ依ラザル共濟組
合デ、性質ヲ變ジテ勞働組合ニシタイ
ト云フモノデアレバ、是モ組合ノ希望
ニ委セテ宜カラウト思ヒマスガ、併シ
勞働條件ノ維持改善ヲ主タル目的トシ
ナイ單純ナル共濟組合デアレバ、是ハ
勞働組合ト云フ譯ニハ參ラヌダラウト
考ヘテ居リマス

來ル前ハ、共濟會ト云フ單純ナル集合
體デアッタノデアリマスガ、其集合體ガ
病院ナドヲ經營シテ居ッタ、所ガ其共濟
會ガ勅令ニ依テ共濟組合トナリマシタ
ガ、共濟組合ハ法人デハナイカラ所有
權ガナイト云フ關係上、病院ヲ誰モ所
有スル者ガナイ、現在調ベテ見マスル
ト、以前ノ工廠長——個人ノ名前ニ依
テ病院ガ登記サレテ居ルト云フ話デア
リマス、併シ萬一此工廠長ガ或ハ死ヌ
ト云フ場合ニハ相續開始ト云フ問題ガ
起ッテ來ハシナイカト思フ、是ハ詰リ
法人デナイ缺點デアラウト思ヒマス
ガ、サウスルト法人タルベキモノハ組
合ニシタイト云フテモ、實ハ組合モ出
來ヌソレデ之ヲ法人ニスルト、事實上
ニ於テハ陸海軍及鐵道省ニ於テハ、勞
働組合ト共濟組合トヲ合體スルコトガ
一番便利デアラウト思フ、唯其際ニ
困リマスノハ、政府ガ毎年ノ豫算ノ範
圍ニ於テ組合員ノ給料ノ總額ノ百分ノ
三デゴザイマシタカノ限度ニ於テ給與
シテ居ル、假ニ之ヲ合體シマスストス
レバ、給與ノ規定ガ矢張勞働組合ノ團體
ニ及ブモノデアリマセウカ、及ブトハ
言ヘマスマイガ、若シ萬一合體致シマシ
タ場合ニ、政府ノ方デハ給與金ト云フ
モノヲ新ラシク出來上ッタ組合ニ給與
サレルモノデアリマセウカ、御考ヲ聞
キタイト思ヒマス

○長岡政府委員 只今共濟組合ニ付テ
詳シイ御調ベデアリマスガ、實ハ其間
題ハ私共ハ以前カラ御述ニナルヤウナ
不便ナ事情ハ承ツテ居リマス、ソレデ只
今御承知ノ通り健康保險法ガ來年度カ
ラ實施サレルコトニナッテ居リマス、ソ
レデ健康保險法ノ十二條ニ官設工場ニ付
テハ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得ト云フコ
トデ、勅令ニ委任シテゴザイマス、ソレデ
多クノ大工場、大鑛山ニハ健康保險法ノ
規定ニ當符マル——寧ろ健康保險法デ定
メタ醫療給付以上ノモノヲヤッテ居ル所
ガアル、是等ノ私設ノ工場ニ於テハ、斯
ク云フ共濟組合ヲ健康保險組合ニ改メサセ
マシテ、サウシテ之ヲ法人トスルト云フ方
針ニナッテ居リマス、今マデノハ無論工
場主側ノ恩惠ノ施設デアリマシテ、
今度ノハ組合ノ權利トナル譯デアリマ
スガ、併シ其施設ハ其儘健康保險組合
ニ引繼イデ宜イダラウト思フ、大體サ
ウ云フヤウナ話ニ今進ミツ、アリマ
ス、民設ノ工場ノ共濟組合ハ今申上ゲ
マシタ健康保險組合ト致シマシテ、健康
保險組合ニ於ケル給付ヲ引續イデヤッ
テモ一向差支ナイ、官設工場ノコトハ
別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得トアリマス
カラ、其施行ノ際十分注意致シマシテ、
今ノ法人タラザル爲ニ困ルト云フヤウ
ナコトハ、或ハ健康保險組合ト云フ自
治的ノ法人ニ形ヲ變ヘサセマスガ、其
邊ハ適當ニ考慮致シマシテ、御心配ノ
點ヲ何トカ解決シタイト考ヘテ居リマ
ス、唯勞働組合ハ御承知ノ通り單純ナ
ル共濟組合ト違ヒマスカラ、事實上ノ

共濟組合ヲ勞働組合ト分ケルト云フコトハ、是ハドウモ勞働組合ノ本質カラ致シマシテオカシナ話ニナリマスノデ、先程二重ノ負擔ト云フコトハ非常ニ苦痛ダト云フヤウナ御説モアリマシタ、洵ニ御尤デゴザイマスガ、勞働組合ノ方ハ任意ノモノデアリマスカラ、負擔ガ厭ヤナラバ勞働組合ノ方ハ這入ラヌデモ宜イ、是ハ勞働者ノ自由デアアル、又實際ノ狀況ヲ見マスト、日本ノ勞働組合ト云フモノハ掛金ガ非常ニ少イ、丁度ハ佛蘭西アタリト能ク似テ居リマスガ、大體一箇月十錢位ノガ多イ、十錢ト申シマシテモ是ハ勞働者ニ取リマシテハ決シテ少イ金トハ申シマセヌケレドモ、共濟組合ノ方ト兩方現ニ並行シテ居ルモノモアルノデアリマスカラ、先ヅ單純ナ共濟組合ハ共濟組合トシテ殘ス、或ハ之ヲ健康保險組合トシテ法人格ヲ與ヘルト云フコトニ致シマシテ、勞働組合ト分ケテ行ク方ガ宜シカラウト考ヘマス、併シハ官設工場ニ付テノ御尋デゴザイマスカラ、其御答ヲ申上ゲタノデアリマスガ、民設ノ組合デアリマス、會社側若クハ資本側カラ、言葉ハ非常ニ不穩當デアリマスケレドモ、御用組合ト言ッタヤウナ形デ造ッタ共濟組合擬ヒノモノガアル、所ガ今マデノ傾向ヲ見マスト、初メ御用組合トシテ出來マシタモノモ、團結ガ相當堅クナリマス、何時ノ間ニカ形ヲ變ジテ事實上ノ勞働組

合ニナルヤウナ實例ガ多々アル、唯會社側デハ團結ノ世話ダケシテヤッテ、組織ガ出來上ルト次第ニ勞働組合ニ形ヲ變ズルト云フヤウナモノモアリマス、サウ云フ傾向モアリマスカラ、民設ノ工場デアリマス、サウ云フヤウナ傾向ヲ以テ進ムモノモアルカモ知レナイト思ヒマス

○渡邊委員 次ニ御聞キ致シタイノハ、詰リ政治運動ニ與ッテハイケナイト云フ政府ノ御意見ニ對シマシテ、矢張事實ノ問題ト致シマシテハ、地方ニ在リマス官設ノ工場ニハ、多ク地方ニ於ケル自治團體、即チ市會議員、村會議員ト云フヤウナモノヲ出シテ居ル、サウシテ是迄ソレヲ出シタル經過ヲ見マスト、現存シテ居リマスモノデ海軍ナドデハ種々ナ名前前ノ會ガアリマスガ、是ハ勞働組合法ノ組合ト殆ド類似ノモノデアリマスガ、ソレガ中心ニナッテ自分ノ組合カラ市會或ハ町村會議員ヲ出シテ居リマス、是ハ政府ノ説明ニ依リマス、繼續的デナイ、唯一時ノ政治運動ナラバ差支ナイ、斯ウ云フ御説明デアリマスガ、實際ニ於キマシテハ自分達ガ選出致シマシタ市町村會議員ハ、其幹部ト始終聯繫ヲ取リマシテ、地方ノ實際ノコトニ當リマシテハ總テノ打合せヲシテ、殆ド繼續的ニ政治運動ト申シマス、ソレヲヤッテ居ル、是ハ實際デアアル、斯ウ云フ場合ニ若シ萬一其現在アリマス組合ガ、此組合法ニ依リマス組

合トナツタ場合ニ、サウ云フ行動ハ執ッテイケナイト云フコトニナリマスノデアリマセウカ、政府ノ御所見ヲ聞イテ置キタイ

○鈴木政府委員 組合ノ政治行動ニ關シマス御質問ト心得マスガ、御承知ノ通り勞働組合ノ本質ハ勞働條件ノ維持改善デゴザイマスカラ、此目的ヲ達スル爲ニ政治行動ニ依ル、即チ近頃ノ言葉デ議會政策ニ依テ之ヲヤルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ一向差支ナイコト、私ハ思ヒマス、唯組合自體ガ其目的ノ一番中樞トシテ政治運動ヲヤルト云フコトニナリマス、治安警察法ニ定メマスル結社ニ該當致シマスカラ、サウスルト治安警察法ノ取締ヲ受ケルコトニナル、斯ウ云フ御答辯ヲ今迄致シテ居タノデアリマス、從テ市會議員ヲ出シ、區會議員ヲ出スト云フコトハ、是ハ必ズシモ不都合ナコトデハナイノデアラウト存ジマス、詰リ所謂議會政策ニ依テ、政治ノ手段ニ依テ勞働條件ノ維持改善ヲ圖ルト云フコトデアアルナラバ差支ナイモノト私共ハ認メテ居ルノデアリマス

○鈴木政府委員 ソレハ組合ガ政治行動ヲスルコトハナラヌト云フヤウナコトヲ揭ゲテナイ以上ハ、組合カラ出マシタ市會議員或ハ村會議員ガ、組合ノ幹部ト或ハ打合せヲシ、或ハ聯絡ヲ取ッテ行動ヲスルト云フコトハ、ドウモ是ハ差支ナイコトノヤウニ私ハ了解致シテ居リマス

○渡邊委員 サウ致シマス、尙ホ此規定ニ關係スル營業權ノ問題デアリマスガ、是モ矢張實際ニ於キマシテハ、陸海軍ノ工場ニ組合ガアリマシテ、其組合ガ實際ニ於テ營業ヲ致シテ居ル實例ハ、海軍ノ吳ノ工場ナドニモ澤山アルノデアリマスガ、先日鈴木參與官ノ此營業權ヲ認メナカッタト云フコトハ、若シ斯ウ云フ營業權ヲ認メテ組合ガ必ズ利益ヲ擧ゲレバ宜イガ、或ハ非常ニ損失ヲ招ク場合ガアル、ソレデ此營業權ト云フモノハ消極的ノ意味デ除イタト云フ御説明デアッタノデアリマスガ、實際ニ於テ營業ヲ致シテ居リマシテ、利益ヲ十分ニ擧ゲテ居ルノデアリマス、サウ致シマス、詰リ營業ヲ致シテ居ル關係上現在ノ組合ト云フモノガ直ニ此組合法ニ於ケル組合トナリ得ナイデアリマセウカ、モウ一應伺ッテ置キマス

○鈴木政府委員 今マデ營業ト云フ言葉デ説明致シテ居リマシタガ、此組合

合ニナルヤウナ實例ガ多々アル、唯會社側デハ團結ノ世話ダケシテヤッテ、組織ガ出來上ルト次第ニ勞働組合ニ形ヲ變ズルト云フヤウナモノモアリマス、サウ云フ傾向モアリマスカラ、民設ノ工場デアリマス、サウ云フヤウナ傾向ヲ以テ進ムモノモアルカモ知レナイト思ヒマス

○渡邊委員 次ニ御聞キ致シタイノハ、詰リ政治運動ニ與ッテハイケナイト云フ政府ノ御意見ニ對シマシテ、矢張事實ノ問題ト致シマシテハ、地方ニ在リマス官設ノ工場ニハ、多ク地方ニ於ケル自治團體、即チ市會議員、村會議員ト云フヤウナモノヲ出シテ居ル、サウシテ是迄ソレヲ出シタル經過ヲ見マスト、現存シテ居リマスモノデ海軍ナドデハ種々ナ名前前ノ會ガアリマスガ、是ハ勞働組合法ノ組合ト殆ド類似ノモノデアリマスガ、ソレガ中心ニナッテ自分ノ組合カラ市會或ハ町村會議員ヲ出シテ居リマス、是ハ政府ノ説明ニ依リマス、繼續的デナイ、唯一時ノ政治運動ナラバ差支ナイ、斯ウ云フ御説明デアリマスガ、實際ニ於キマシテハ自分達ガ選出致シマシタ市町村會議員ハ、其幹部ト始終聯繫ヲ取リマシテ、地方ノ實際ノコトニ當リマシテハ總テノ打合せヲシテ、殆ド繼續的ニ政治運動ト申シマス、ソレヲヤッテ居ル、是ハ實際デアアル、斯ウ云フ場合ニ若シ萬一其現在アリマス組合ガ、此組合法ニ依リマス組

合トナツタ場合ニ、サウ云フ行動ハ執ッテイケナイト云フコトニナリマスノデアリマセウカ、政府ノ御所見ヲ聞イテ置キタイ

○鈴木政府委員 組合ノ政治行動ニ關シマス御質問ト心得マスガ、御承知ノ通り勞働組合ノ本質ハ勞働條件ノ維持改善デゴザイマスカラ、此目的ヲ達スル爲ニ政治行動ニ依ル、即チ近頃ノ言葉デ議會政策ニ依テ之ヲヤルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ一向差支ナイコト、私ハ思ヒマス、唯組合自體ガ其目的ノ一番中樞トシテ政治運動ヲヤルト云フコトニナリマス、治安警察法ニ定メマスル結社ニ該當致シマスカラ、サウスルト治安警察法ノ取締ヲ受ケルコトニナル、斯ウ云フ御答辯ヲ今迄致シテ居タノデアリマス、從テ市會議員ヲ出シ、區會議員ヲ出スト云フコトハ、是ハ必ズシモ不都合ナコトデハナイノデアラウト存ジマス、詰リ所謂議會政策ニ依テ、政治ノ手段ニ依テ勞働條件ノ維持改善ヲ圖ルト云フコトデアアルナラバ差支ナイモノト私共ハ認メテ居ルノデアリマス

○鈴木政府委員 ソレハ組合ガ政治行動ヲスルコトハナラヌト云フヤウナコトヲ揭ゲテナイ以上ハ、組合カラ出マシタ市會議員或ハ村會議員ガ、組合ノ幹部ト或ハ打合せヲシ、或ハ聯絡ヲ取ッテ行動ヲスルト云フコトハ、ドウモ是ハ差支ナイコトノヤウニ私ハ了解致シテ居リマス

○渡邊委員 サウ致シマス、尙ホ此規定ニ關係スル營業權ノ問題デアリマスガ、是モ矢張實際ニ於キマシテハ、陸海軍ノ工場ニ組合ガアリマシテ、其組合ガ實際ニ於テ營業ヲ致シテ居ル實例ハ、海軍ノ吳ノ工場ナドニモ澤山アルノデアリマスガ、先日鈴木參與官ノ此營業權ヲ認メナカッタト云フコトハ、若シ斯ウ云フ營業權ヲ認メテ組合ガ必ズ利益ヲ擧ゲレバ宜イガ、或ハ非常ニ損失ヲ招ク場合ガアル、ソレデ此營業權ト云フモノハ消極的ノ意味デ除イタト云フ御説明デアッタノデアリマスガ、實際ニ於テ營業ヲ致シテ居リマシテ、利益ヲ十分ニ擧ゲテ居ルノデアリマス、サウ致シマス、詰リ營業ヲ致シテ居ル關係上現在ノ組合ト云フモノガ直ニ此組合法ニ於ケル組合トナリ得ナイデアリマセウカ、モウ一應伺ッテ置キマス

○鈴木政府委員 今マデ營業ト云フ言葉デ説明致シテ居リマシタガ、此組合

法ニ於キマシテ別ニ營利事業ヲ禁止スルト云フ法文ハ無イノデアリマスケレドモ、茲ニ第二條ニ於テ勞働組合ノ目的ヲ掲ゲマシタ此文句ニ依テ見マス、營利事業ヲ爲スト云フコトハ、組合ノ目的ニハドウモ副ハヌヤウニ思フ、隨テ茲ニ所謂勞働組合ト申スコトハ出來ニ結論ニナリマス、是ノ善シ惡シニ付キマシテハ色々御意見ノアルコト、存ジマス、サリナガラソレハ大仕掛ノ營利事業ヲヤルト云フコトハ宜シクナイト云フ趣旨デアリマシテ、稍此分界ハ明確ヲ缺キマスガ、是ハ社會通念デ略ボ區別ガ出來ル事ト思フ、同ジ利益ヲ營ム形ノ事業ヲ致シテ居リマシテモ、共同利益ノ保護増進ト云フ文句ノ含メル程度ノモノデアレバ、是ハ何トモ致方ハナイモノデアアル、是ハ昨日モ引例ヲ致シマシタ機關紙ヲ發行スルガ如キ、或ハ講演會ヲ開イテ入場料ヲ取ッタル、是ハ多少利益モ伴ヒマスガ、結局社會通念デ以テ之ヲ區別スルヨリ外致方ナイカト考ヘテ居リマス

○渡邊委員 ソレト此組合法ノ第十六條ノ規定デアリマスガ、此點ハチヨット法規ノ上ニ於テモ「行政官廳ハ勞働組合ニ對シ其ノ業務若ハ財産ノ狀況又ハ組合員ノ員數ニ關シ報告ヲ爲サシムルコトヲ得」ト云フコトガ書イテアリマス、此條文全體ニ關スル質疑ハモウ既ニ過ギマシタラソレハ致シマセヌガ、サウ致シマスト矢張產業組合ニ關係ヲ致

シテ來ルト思フノハ、斯ウ云フ届出ヲ行政官廳ニ致シマシテ、サウシテ實際ノ此組合ノ監督トシテハ、寧ろ海軍ニ於キマシテハ海軍ニ在ルダラウト思ヒマスガ、サウスルト海軍ノ方カラ或ハ此業務者ノ財産トカ總テノ整理ヲサセルト云フコトハ或ハ必要ガアルカモ知レマセヌガ、行政官廳ニ届ケルト云フコトニナルト、總テ監督ト云フモノガ行政官廳ガ出來ルカト云フト、茲ニ矛盾ガ出來ルト思フ、行政官廳ヘハ寧ろ届出ル必要ハナイ、ソレヲ海軍ノ方ヘハ何等届ケズシテ行政官廳ニ届出ルト云フコトハ、產業組合ニ於テハ多少不便ヲ感ジハシナイカト云フ感ジガ起ルノデアリマスガ、御意見ヲ拜聽致シマス

○鈴木政府委員 此行政官廳ハ地方廳ヲ意味スル積リデアリマス、如何ニモ仰セノ通り海軍ノ工場デアレバ海軍ノ官廳ニ届出タ方ガ能クハナイカ、斯ウ云フ御意見ハ如何ニモ御尤ノヤウデアリマスガ、海軍ノ官廳ハ勞働者ニ對シテハ雇傭者ミタイナ關係ニナリマスカラ、隨テ是等ノ狀況ト云フモノハ自ラ明白ニナル便利ヲ持ッテ居ルノデハナイカト思ヒマス、此條文ハ勞働界ノ特色ナ事情ヲ知り、之ニ對スル對策ヲ立テル意味カラ致シマシテ、結局此兩方面ノ事ヲ取締ッテ行ク官廳ニ色々ナ報告ヲ集メル必要カラ設ケタモノデゴザイマス、御示ノ官廳ハ雇傭者ト云フ側

デ報告ガ十分得ラレルデハナイカト思ヒマス

○渡邊委員 ソレデ實ハ私モウ一ツ疑問ガ起リマシタ、此十六條ノ官廳ハ詰リ地方廳デアルト致シマスレバ、爭議ガ起リマシタ際ニ、行政官廳ガ其欲スル欲セザルニ拘ラズ調停委員會ニ懸ケルト云フ場合ニハ、詰リ地方長官ガ當事者ノ鎮守府司令長官ト、サウシテ勞働爭議團トノ兩方ニ命令ヲ下スコトニナリマス、サウスルト地方長官ガ、ソレ以上ノ官廳ノ役目、詰リ鎮守府司令長官ニ調停委員會ヲ開ク命令ヲ出シテモ、ソレデ差支ナイカ

○鈴木政府委員 若シ海軍ノ官廳ガ當事者ノ一方デアルト云フコトニナレバ、此地方廳ガ命令ヲ下スト云フコトハ是ハ已ムヲ得ナイコトニナルト存ジマス

○渡邊委員 ソレト矢張之ニ關聯ヲ致シマスガ、軍屬ノ點ニ付キマシテ昨日來既ニ質問應答ガ重ネラレタノデアリマスガ、法律ノコトハ別ト致シマシテ、實際ノ場合ニ於キマシテ、軍屬ト云フモノハ海軍ノ工廠ナゾニハチヨット小使ト云ツテ宜イヤウナ、或ハ日給月給トカ其意味ハ能ク知りマセヌガ、是ハ小使デナク他ノ勞働モ致スノデアリマス、是ハ普通ノ勞働者ト少シモ違ッテ居ラヌ、唯日給月給ト云フ意味ハドウ云フ意味カ知レマセヌガ、普通ニサウ唱ヘテ居リマス、餘リ性質ノ違ハナイモ

ノガ唯今ノ日給月給ト云フ俸給ノ關係カラ勞働組合ニ入ルコトガ出來ナイト云フ風ナ矛盾ガ起ッテ來ハセヌカト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○鈴木政府委員 此軍屬ノ意味ニ付キマシテハ、昨日陸軍大臣カラ申サレタ通りデアリマシテ、軍人ニ非ズシテ軍務ニ從事スル者ト云フヤウニ陸軍大臣ハ言ハレタヤウニ記憶致シマス、而シテ其中ニハ官制ニ依テ斯様ナ職務ヲ執ッテ居ル者モアレバ、雇傭關係ニ因ッテ左様ナ職務ヲ執ッテ居ル者モアル、斯ウ云フ説明ノヤウデアリマシタ、而シテ只今ノ御示ノ例ハ、若シ軍務ニ服シテ居ナイ他ノ職務ヲ執ッテ居ル者デアレバ、或ハ軍屬トハ言ハヌノデハナイカト思ヒマスガ、是ハ軍事當局ニモウ少シ伺ッタ方ガ安全ダト存ジマスノデ、是ハ後程能ク質問シマスガ、今日軍屬ト稱セラレル者ハ餘リ數澤山ハナイヤウニ承知致シテ居リマス、デスカラ同ジ鎮守府ナリ師團ナリニ雇ハレタトシマシテモ、軍屬ニ非ザル純然タル勞働者モアリ得ルノダラウト思ヒマス、是ハ尙ホ陸海軍當局ニ質問シテ御答ヘ致スコトニ致シマス

○渡邊委員 最後ノ御問ハ、實ハ内務省關係ノ方ニハ少シ無理カトハ思ヒマスガ、社會問題ヲ取扱ッテ居ル關係上御尋シタイト思ヒマス、ソレハ先程申上ゲマシタ共濟組合ノ關係カラ出テ參ルノデアリマスガ、今日共濟組合ノ退職

年金制度ニ付テハ、大分問題ガ起ツテ居ルヤウデアリマス、是等ニ付テハ政府ハ其解決ニ努メラレテ居ラレルヤウデアリマスカラ、之ニ付テハ伺ヒマセヌガ、私ノ間ヒタイコトハ、此共濟組合カラ退職年金ヲ貰フノハ、詰リ自分ガ積立ツタ金ヲ或時期ニ於テ貰フト云フコトニナルノデアリマスガ、是ガ官吏デアルト、此人ガ最モ有意義ノ時代ヲ國家ニ奉公シタト云フ關係上、退職後ニハ恩給ト云フモノヲ貰フガ、一方ハ職工デアルト云フ關係上之ヲ貰フコトガ出來ナイ、唯貰ヒマスノハ今ノ共濟組合ノ年金以外ニハ何モ無イ、茲ニ非常ナ矛盾ガアルト云フノガ官業勞働者全體ノ聲デアリマス、同ジク官設ノ工場ニ働イテ居ル者ハ、職員デアラウガ職工デアラウガ、國家ニ對スル國防ノ任ニ當ツテ居ル、國家ノ仕事ヲ爲シテ居ルト云フ者ニ對シテハ、何等ノ差別ハナイ筈デアアル、而モ物ニ依リマスレバ、或ハ大砲ノ燒ヲ入レル職工ナドハ中々重要ナ役目デ、官吏以上ノ地位ニ居ラナケレバナラヌモノデアリマスガ、是等ノ職工ニモ何等恩給ガ附カナイノデアリマス、唯年金ノ制度ダケシカナイ、是ハ以前ノ日本ノ狀態カラ言ヒマスト、或ハ官尊民卑ノ關係上サウナツタカモ知レマセヌガ、今日ノ狀態デハ同等ノ者ハ待遇モ同ジクシナケレバナラヌト思ヒマス、是等ニ對シテ、内務省ニ於キマシテハ斯ウ云フ社會問題ニ對スル法

規ノ統一ヲ爲サルノデアリマスカラ、將來何カ制度ヲ造ルト云フ御考ハアリマセヌカ、ソレヲ御同致シマス

○鈴木政府委員 只今ノ渡邊サンノ御意見ハ如何ニモ御尤デス、是ハ確ニ時弊ニ當ツタ御言葉ト存ジマス、而シテ海陸軍人ニハ掛替ガアツテモ、鋼ノ燒ヲ入レル職工ニハ國寶ニモ等シイト云フ者モ今日既ニ在ルノデアリマス、如何ニモ其方面ニ於テ今少シ優遇ヲシ、且ツ官制ニ依テ働イテ居ル者トノ權衡ヲ取ル必要ガアラウカト思ヒマス、併シ是ハ何シロ豫算ニモ關係ニルコトデアリマスカラ、今俄ニ具體的ノ御返答ヲ申上ゲルコトモ出來マセヌシ、又是ハ主トシテ海陸軍省デ取扱ツテ居ルコトデアリマシテ、社會局トシテハ今ドウシヤウト云フ——假令希望ハ致シマシテモ具體的ニ働キ掛ケテサウ云フ風ナ立法ヲスルト云フ段取ニハマダナツテ居リマセヌ、併ナガラ職工ガ退職スル時分ニ貰ヒマスル所ノ金錢其他ノ利益等ハ、官設工場ノ職工ノ方ガ私設ノ工場ノ職工ニ較ベマスト、遙ニ有利ニナツテ居リマス、尤モ鐘淵紡績トカ、或ハ大日本麥酒會社デアルト云フヤウナ、特別ナ成績ノ好イ會社ハ、或ハモウ少シ有利ニナツテ居ルカモ知レマセヌガ、是ハ能ク取調ベタ譯デハアリマセヌガ、先ヅ普通私設ノ工場ニ較ベレバ、官設工場ノ職工ノ方ガ今日比較的優遇サレテ居ル、併ナガラ普通ノ軍人軍屬ニ較ベテ

ハ如何ニモ薄イト云フ御非難ハ或ハ當ツテ居ルカモ知レマセヌ、是等ノ點ニ付テハ財政ノ餘裕ノ許ス限り、軍務當局ニ於テモ決シテ注意ハ怠タラヌコトデアラウト存ジテ居リマス

○渡邊委員 只今ノ御答辯ハ御尤トハ存ジマスガ、此陸海軍ノ職工ノ退職ニ對スル資金ハ、整理ノトキハ相當アツタト存ジマス、此資金ヲ貰ヒマシタノハ、判任官以上ノ官吏モ總テ貰ヒマシタ、此點ニ付テハ兩者共通デアリマスガ、職工ハ年金關係デ不利益ヲ受ケテ居ルノデアリマス、此點ニ付テハ實ハ御尋シタ譯デアリマシタガ、社會局ノ方デドウスルト云フコトモ是ハ出來マセヌカモ知レマセヌガ、唯法規ヲ取扱ツテ居ル關係上御意見ヲ伺ツタノデアリマスカラ、此點ハ是デ打切りマス、モウ一ツ御尋シタイノハ、職工規則ニ依リマシテ、官業勞働者ニ於キマシテハ府縣會議員ニナルコトハ出來ナイト云フコトガアルト云フコトデアリマスガ、此御趣旨ハドウ云フ意味デゴザイマセウカ、一寸御聽キシタイト思ヒマス——兼職ガ出來ナイサウデアリマスガ

○鈴木政府委員 其話ハ私モ前聽キマシタノデゴザイマス、當時問題ニナリマシタノデアリマスルガ、別ニ規則ニハ私ナカッタヤウニ記憶致シテ居リマス、唯注意ヲ致シテ止メタノダト云フヤウナコトヲ申シテ、其儘ニナツタヤウニ私ハ記憶致シテ居リマス、其時分ニ

注意ヲシテ止メタノダト言ウタノハ、八幡市ノ製鐵所ノ職工ガ假ニ縣會議員ニナルト致シマス、縣會ハ御承知ノ通り福岡市デ開カレルノデアリマスカラ、アノ間相當ノ距離モゴザイマス、縣會ノ開カレタ時分ニハ絶エズアチラニ行ツテ居ナケレバナラズ、而シテ自分ハ職務ヲ八幡ニ持つテ居ル職務ヲ怠ラナケレバナラヌト云フヤウナ關係カラ、是ハドウモ兩方ハ兼ネサセナイ方ガ宜シイノダト云フヤウナ意見ガ多クテ、左様ナ注意ヲ致シタノデアラウト存ジマス

○渡邊委員 私之ニ付テハ議論ヲ致スノデアリマセヌガ、是ハ實ハ實例ヲ申上ゲマスト、私ハ吳ノ出身デゴザイマスガ、吳ハ既ニ候補者ヲ縣會議員ニ立テマシテ運動ヲシタコトガアルノデアリマス、不幸ニシテソレハ當選ハ致シマセヌデシタケレドモ、之ニ付テハ海軍ノ方デハ何等ソレニ對シテ宜クナイトカ宜イトカ云フヤウナ意見ヲ少シモ耳ニシマセヌデシタガ、理窟デハアリマセヌケレドモ、寧ロ地方自治體ニ對シテハ、成ベク代表者ヲ送ラシテ、サウシテ地方自治ノ實情ヲ知ラセタイト云フノガ其趣旨デアラウト思ヒマスカラ、府縣會議員ヲ出スニシテモ、一工場デサウ澤山出スモノデハナイト思フ、一工場恐ラク一人若クハ二人位シカ當選ハ出來マイト思ヒマスガ、其事務ノ滯滞モ起ツテ參リマセウガ、長イ

ハ如何ニモ薄イト云フ御非難ハ或ハ當ツテ居ルカモ知レマセヌ、是等ノ點ニ付テハ財政ノ餘裕ノ許ス限り、軍務當局ニ於テモ決シテ注意ハ怠タラヌコトデアラウト存ジテ居リマス

○鈴木政府委員 其話ハ私モ前聽キマシタノデゴザイマス、當時問題ニナリマシタノデアリマスルガ、別ニ規則ニハ私ナカッタヤウニ記憶致シテ居リマス、唯注意ヲ致シテ止メタノダト云フヤウナコトヲ申シテ、其儘ニナツタヤウニ私ハ記憶致シテ居リマス、其時分ニ

ハ如何ニモ薄イト云フ御非難ハ或ハ當ツテ居ルカモ知レマセヌ、是等ノ點ニ付テハ財政ノ餘裕ノ許ス限り、軍務當局ニ於テモ決シテ注意ハ怠タラヌコトデアラウト存ジテ居リマス

○渡邊委員 只今ノ御答辯ハ御尤トハ存ジマスガ、此陸海軍ノ職工ノ退職ニ對スル資金ハ、整理ノトキハ相當アツタト存ジマス、此資金ヲ貰ヒマシタノハ、判任官以上ノ官吏モ總テ貰ヒマシタ、此點ニ付テハ兩者共通デアリマスガ、職工ハ年金關係デ不利益ヲ受ケテ居ルノデアリマス、此點ニ付テハ實ハ御尋シタ譯デアリマシタガ、社會局ノ方デドウスルト云フコトモ是ハ出來マセヌカモ知レマセヌガ、唯法規ヲ取扱ツテ居ル關係上御意見ヲ伺ツタノデアリマスカラ、此點ハ是デ打切りマス、モウ一ツ御尋シタイノハ、職工規則ニ依リマシテ、官業勞働者ニ於キマシテハ府縣會議員ニナルコトハ出來ナイト云フコトガアルト云フコトデアリマスガ、此御趣旨ハドウ云フ意味デゴザイマセウカ、一寸御聽キシタイト思ヒマス——兼職ガ出來ナイサウデアリマスガ

○鈴木政府委員 其話ハ私モ前聽キマシタノデゴザイマス、當時問題ニナリマシタノデアリマスルガ、別ニ規則ニハ私ナカッタヤウニ記憶致シテ居リマス、唯注意ヲ致シテ止メタノダト云フヤウナコトヲ申シテ、其儘ニナツタヤウニ私ハ記憶致シテ居リマス、其時分ニ

○鈴木政府委員 其話ハ私モ前聽キマシタノデゴザイマス、當時問題ニナリマシタノデアリマスルガ、別ニ規則ニハ私ナカッタヤウニ記憶致シテ居リマス、唯注意ヲ致シテ止メタノダト云フヤウナコトヲ申シテ、其儘ニナツタヤウニ私ハ記憶致シテ居リマス、其時分ニ

旅行ヲ致シテ居リマス、一月ヤ二月ノ旅行ハ始終アルノデアリマス、唯單ニ一月ノ縣會ノ會期中一月ト云フモノヲ差支ガアルカラト云フ意味デ御止メニナルコトハ、甚ダ不當デハナカラウカ、斯ウ思フノデアリマスガ、將來若シサウ云フコトガアルト致シマシタナラバ、社會局ノ方ノ御意見ハ如何デアリマセウカ、一寸御尋シテ置キタイト思ヒマス

シテ許サヤ否ヤト云フコトハ、今概括的ニ茲ニ御答ヘスルコトハ洵ニ困難デゴザイマスルガ、相成ベクサウ云フコトハ緩ヤカニ見テ居ル方ガ宜シイト云フ、社會ノ趨勢ニナツテ來ヤシナイカトハ存ジマスケレドモ、是ハ具體的ノ問題ニ付テハナケレバ、的確ノ御意見ハ申上ゲラレマセヌカラ、是ハ惡シカラズ御諒承ヲ願ヒマス

○鈴木政府委員 御言葉中ニ在リマス委員制度デゴザイマスガ、是ハ出來マシテモ一向差支ナイノミナラズ、寧ロ御説ノ通りニ、或ハ獎勵スベキモノデアルカモ知レマセヌ、詰リ其趣旨ハ、工場側ノ——資本家側ト云フト少シク語弊ガアリマスルガ、兎モ角モ雇傭者側ノ人ト、勞働者側ノ人トガ「ラウンド・テーブル」ノ前ニ座ツテ話サレバ、一切ノ問題ハ之ニ依テ解決サレル、此趣ハ確ニゴザイマス、ソレカト云ウテ勞働組合ヲ組織セズニ濟ム程ノ發達ヲ遂ゲルモノトモ私ハ觀察ヲ致シテ居リマセヌ、是ハ併セ設立シテ一向差支ナイト存ジマス、其工場委員制度ナルモノニ、或ル特殊ノ權限ヲ與ヘテ、勞働組合ハ寧ロナクテモ宜イ程度ノ發達ヲサシタ方ガ宜イト云フ御意見、是ハ御意見トシテ承ツテ置キマスルガ、只今ノ所政府ニ於テハ、斯様ナ委員ニ左様ナ權限ヲ與ヘテ、其處マデ發達セシムルト云フコトハ實ハマダ考ヘテ居リマセヌ次第デアリマス、併ナガラ他日左様ナ事ヲ考ヘル時代ガ來ルカモ知レマセヌ

○鈴木政府委員 最後ニ唯簡單ニ御尋ヲ致シマスガ、勞働組合法以外ニ、今日マデ現存シテ居リマスル勞働ニ關スル法規ト云フモノハ澤山アリマスガ、其法規ガ、例ヘバ鑛業法及ビ工場法ガ、其規定ニ於テ非常ナ矛盾ナ所ガ多イノデアリマス、演繹致シマスルマデモナク、工場法ハ——詰リ法律ニ於テ規定ヲ致シテ居リマスル勞働者ノ保護及ビ救助ト云フモノハ、鑛業法ノ法律ノ方ニハ何ノ規定モナクシテ、寧ロ省令ノ方ニ規定シテアル、全部トハ申シマセヌ、唯一例トシテ申上ゲマス、斯ウ云フヤウナ矛盾ガ非常ニ澤山アリマス、是等ヲ統一一致シマス、矢張組合法ヲ統一一致シマシテ相當ナル權限ヲ附與致シマス

ト、前申上ゲタヤウニ勞働法ノ相當價值アルモノガ出來ルト思ヒマスガ、是等ノ統一ハ健康保險法ノ實施ノ際ニ一寸困ル點ガ澤山起リハセヌカト思ヒマス、當局ノ御方針ハ是等ヲ統一スルト云フ御方針デアリマスカ一寸伺ツテ置キタイ

○鈴木政府委員 只今御尋ニナリマシタノハ主トシテ官業工場ニ付テノ御話デアリマシタガ、是ハ民設工場ニモ同ジヤウナ事例ガ起リ得ルコト、存ジマス、普通ノ私立ノ營利會社等ニ付キマシテハ、要スルニ會社側ニ於テ、ソレヲ默認スルト云フコトニナレバ、是ハ出ラレルコトデアラウト思ヒマス、唯問題トシテ殘ルノハ、其一月ナリ二月ナリ縣會ニ出席シテ居ル間ノ給料ヲドウスルカ、而シテソレガ一箇月ナリ二箇月ナリサウ云フヤウナ風ノ職務ニ從事シテ居ルト云フト、或ハ自己ノ職務ノ方ニ少シク退步ヲ來シテ、色々ナ差障リヲ生ズルト云フヤウナ懸念ガアレバ、差止メルコト、存ジマスガ、其方ノ懸念サヘナケレバ、私設工場ニ於テハ許セバ一向差支ナイコト、思ヒマス、官設工場ニ於キマシテハ、少シク趣ガ違ヒマシテ、嚴重ナル此方面ノ規定ガアルヤウニ承知ヲ致シテ居リマスカラ、是カラ先サウ云フ者ガ出タ時分ニ、果

○渡邊委員 モウ一ツニツデ私モ濟ミマス、御聞キ致シタイノハ、工場委員ノ制度ト言ヒマス、一寸意見ガ違フヤウデスケレドモ、矢張實例ノ上カラ申シマスノデスガ、工場委員制度ヲ現在矢張官設工場ニ於テ持ツテ居ル所ガアルノデアリマス、代表者ヲ出シマシテ、サウシテ選舉致シマシテ、ソレヲ確カ

——是ハ具體的ニ申上ゲタ方ガ却テ分リ易イト思ヒマスガ、横須賀ニ於テハ談話會、吳ニ於テハ協議會ト云フモノガアリマシテ、之ニ代表者ヲ選舉致シマシテ、サウシテ當局ト膝ヲ突合セテ總テノ協議ヲスル、斯ウ云フ會ガ實ハアルノデアリマス、相當有意義ニ發展ヲシテ居ルヤウデアリマスガ、此制度ニ今少シク權限ヲ附シマシテ、サウシテ問題ニ依テハ當局ト代表者トガ膝ヲ突合セテ解決ヲスルト云フコトハ、非常ニ大切ナコトデアリマスガ、是ハ此制度ニ權限ヲ與ヘテ置イタナラバ、寧

○鈴木政府委員 或ハ御説ノ通りノ缺點ガ全然無イトモ云ヘマセヌ、併ナガラ鑛業法工場法ノ大分立場ガ違ヒマスノデ、自然規定モ違ツテ來ル、而シテ勞働ニ關スル法規ハ必要ニ應ジテ立法致シテ參リマシタノデ、鑛業法ヲ作り、工場法ヲ作り、勞働組合法ヲ作り、勞働爭議調停法ヲ作り、又團體協約法ヲ作ルト云フヤウニ、社會ノ必要ニ應ジテ作ッテ來マス、他日適當ナ機會ニ打ツテ之ヲ一丸トナシ、勞働法ト云フヤウナ大法典ヲ作ル時期ガアルカトモ思ヒマスガ、今日ハ必要ニ應ジテ漸次ヤッテ參リマシタ、而シテ健康保險法ヲ實施スル上

ニ於テ、或ハ支障ガアルト御觀察ナサルノハ一ノ御意見デゴデイマセウガ、當局ニ於キマシテハ、別段差支ハ無いト今日ハ考ヘテ居リマス

○森委員 此法案ノ内容ニ付テ私ノ御尋致シタイト思フ點ハ、大要盡サレテ居リマスカラ、私ハ多ク其點ニ觸レルコトヲ避ケマス、唯一ニ感想的ノ質問ヲシテ見タイト思フ、組合法案ノ第十四條ノ規定ト、米國ノ「ユー・エス・スチール・コーポレーション」デヤツテ居リマス方法、之ヲ對照考察ヲシテ見テ、果シテ何レガ産業發達ノ爲ニ便利デアルト云フ御觀察デアリマセウカ

○鈴木政府委員 モウ少シ具體的ニ仰シヤツテ下サイ

○森委員 「ユー・エス・スチール・コーポレーション」デハ組合ニ加入シテ居ル勞働者ハ絶對ニ使用スルコトヲ避ケルト云フ主義ヲ、而モ強烈ニ主腦者ガ主張シテ、サウシテ之ヲ通シテ居ル、是ガ米國ノ製鋼製鐵業發達ノ上ニ重大ナ關係ガ有ルヤウニ私ハ承知致シテ居ル、デ米國ノヤウニ勞働條件ガ能ク研究サレテ居ル國ニ於テ、尙ホ而モ是モ現代の産業法ヲ取ツテ居ル處デ斯ノ如キコトヲヤツテ居ル、是レハ吾ガ勞働法規ヲ制定スル上ニ於テ、非常ニ參考ニナルト思ヒマスカラ、之ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ツテ置キタイ

〔山口委員長代理委員長席ヲ退キ藏園理事代リ著席〕

○鈴木政府委員 「ユー・エス・スチール・コーポレーション」ノヤリ方ニ付テノ御話、ソレニ對スル政府ノ所見如何ト云フコトデアリマスガ、如何ニモ産業發達ト云フコトヲ主眼トシテ考ヘマスト「ユー・エス・スチール」ノヤリ方モ確ニ宜イト云フ議論モ立タウト思ヒマ

ス、是ハ恰モ一國ノ政治ヲ料理シテ行ク上ニ於テ、色ミナ人ガ寄ツテ勝手ナコトヲ言フ、立憲政治ヨリモ寧ロ獨裁政治ガ宜イト云フ議論ノ立テ方モ、決シテ之ニ似寄ツタトハ申シマセヌケレドモ、サウ云フ意味ノ議論ハ起リ得ルノデアリマシテ、而シテ米國ハ勞働者モ可ナリ發達シテ居リマスガ、資本家モ發達シ、而シテ共ニ算盤ヲ彈クコトハ極メテ機敏デアリマシテ、御承知ノ通り羅甸民族ノヤウニ直ニ感情ニ走ツテ算盤ヲ忘レルト云フ民族デアリマセヌカラ、斯様ナコトモ比較的行ハレルト

思ヒマスガ、日本ナドハ何方カト云フト、羅甸民族ニ近イ性格ガアル、故ニ日本ニ於キマシテ近頃勞働問題ガ中ニ盛ンニナツテ參リマシテ、動モスレバ感情ニ走ツテ色ミナコトヲ致シマス、資本主義ガ亞米利加程今日日本ニ於テハ旺盛デハナイノデアリマス、隨ヒマシテ御示シノヤウナコトガ若シ出來ルトスレバ至極結構デアリマスガ、今日日本ニ於テハ此程度ニ於テ、既ニ資本家ガ横暴デアツテモウ少シ勞働者ヲ保護シナケレバナラス、何故ニ勞働組合法ヲ出

サス、出シテ見テモ是デハ保護ニナラヌ、モウ少シ勞働者ニ有利ナ條文ヲ入レタラドウカト云フ、殆ド今日此所ニ居ラレル委員ノ全部トハ申シマセヌケレドモ、大部分サウ云フ御意見ノヤウニ拜聽致シマスヤウナ次第デ、如何ニモ一面御尤モナ御意見デアリマスケレドモ、左様ナ風ニハ日本ハ行キ兼ねルト思ヒマス

○森委員 只今ノ「コーポレーション」ノ採ツテ居ル方針ニ對スル鈴木參與官ノ觀察ト私共ノ承ツテ居ル點ハ餘程相違致シテ居リマス、併シ是ハ勞働法規ヲ御立法ニナラウトスル政府御當局ノ御考ノ由ツテ來ル所ヲ確メル參考ニ伺ツタダケデゴサイイマスカラ、此問題ハ此程度ニ止メテ置キマス、次ニ勞働法案ノ第十條ノ中デ、昨日慥カ原惣兵衛君カト記憶致シマスガ、御尋ヲシタ基金ノ設置管理及處分ニ關スルコトハ、總會ノ決議ヲ經ベシト云フ一項デアリマス、之ニ對スル鈴木參與官ノ御答辯ハ、極メテ輕イ御答辯デアッタノデアリマス、私ハ原君ト同様ニ此一項ハ組合ノ發達ノ上ニ、殊ニ組合ガ資本家側或ハ經營者側ト對抗シテ戰ツテ行ク上ニ、重大ナ關係ガ有ル點ダト記憶致スノデ

ス、ソレガ此規定ガ假ニ文字通りニ強ク守ラレルト假定致シマスト云フト、勞働組合ノ策戰ト云フモノハ非常ナ薄弱ナモノニ陷ルダラウト私ハ思フ、併シ是モ行政官ノ手心デドウニデモナル

譯デアリマスガ、或ハ水懸論ニナリマスルカラ、此點ニ對シテ私ハ重ネテ御尋致シマセヌガ、唯斯ウ云フ意味ニ於テ一ツ實シテ置キタイ、總會ノ議ヲ經ベシトアルノデアリマスガ、假ニ其決議ヲ經ナカッタトカ、或ハ基金ノ設置ニ付テノ手續デアルトカ、數字デアルトカ、或ハ管理方法ダトカ、處分ダトカ云フコトヲ、事實ト相違ノ報告ヲシタト云フヤウナ場合ニハ、何等カ制裁ヲ受ケルヤウナコトニナルノデアリマセウカ

○長岡政府委員 基金ノ設置及管理、處分ト申シマスルノハ、昨日鈴木政府委員カラ申上ゲマシタヤウニ、一々金額ヲ示シテ、支出收入ヲ總會ノ決議ニ付セロト云フ意味デハナイノデゴザイマシテ、例ヘバ斯ウ云フ基金ヲ設ケル、或ハ此基金ハ同盟罷業ニ使フ、是ノ目的ニ使フ、勞働黨ニ寄附スルト云フヤウナ、唯原則ヲ總會ニ付議シテ決メテ置ケバ、同盟罷業ノ其都度、今度ハ千圓ヲ支出スル、一萬圓ヲ支出スルトカ云フヤウニ、豫算的ニ議ニ付サナク

テモ宜イト云フ、輕イ意味ニ御扱ヲ願ヒタイ、ソレカラ只今ノ制裁問題デゴザイマスガ、是ハ例ノ取消ノ條文ニ依リマシテ、會議ノ決議ガ法令ニ違反スル、或ハ公益ヲ害スルト云フ程度ニ參リマスレバ、行政官廳ガ之ヲ取消シマスケレドモ、其事ガ違法デナイ限り、又公益ヲ害シナイ限り、取消ス必要ハナ

カラウ、要スルニ其決議ノ内容ガ違法
デアルカ、公益ヲ害スル程度マデ虚偽
デアルカト云フ問題ニ歸著スルノデ、
其都度事實ノ狀況ニ基キマシテ、判斷
スル外ニ致方ハナイカト思ヒマス

○森委員 此點ニ對シテハ第十條ノ文
句ヲ正面カラ解釋シテ行キマス云フ
ト、只今ノ精神解釋ノヤウニハ受取レ
ナイ時代ガ來ルダラウト云フコトヲ私
共ハ心配スルノデアリマス、併シ是ハ
只今ノ御答辯ノ程度ニ止メテ置キマス
ガ、是ハ將來假ニ此法案ガ成立スルモ
ノト致シマシタナラバ、勞働組合ニ重
大ナル利害ヲ及ボシ易イモノデアルト
云フコトヲ私共ハ指摘致シテ置キタイ
ト思ヒマス、次ニ一體私共ノ觀察デハ
殊ニ亞米利加ナドノ例カラ行キマス
云フト、勞働組合ノ發達ト云フコト、
勞働者ノ福祉ノ増進ト云フコトガ、必
シモ一致スルトモ思ヘナイ節ガ多イ、
即チ勞働組合ガ非常ニ能ク發達シテ居
ル所ノ勞働者ノ幸福ガ、ソレト比例シ
テ良ク行ッテ居ルカ、或ハ勞働組合員ガ
少ク、組合ノ發達モ花々シクナイト云
フ所デモ、事實ハ勞働者ノ福祉ガ非常
ニ進ンデ居ルト云フ場所ノ實例トシ
テ、亞米利加ノ如キハ認メ得ラレル、ソ
コデ私ハ御同致シタイノデアリマス
ガ、此法規ノ力ニ依テ、積極的ニ保護誘
導ヲシナケレバ、日本ノ現狀ニ於テハ、
此組合ヲ順調ニ發達サスコトハ出來ナ
イ、或ハ勞働者ノ福祉ヲ此上ニ良ク順調

ニ進メルコトハ出來ナイト云フ御考デ
アリマスカ、又現行法ノ範圍デ勞働爭
議ナドガ起ツタ場合ニ圓滿ニ、調停ヲス
ルコトハ不可能デアルト云フ御考デア
ルカ、此點ヲ一ツ御伺ヒ致シテ置キマス

○長岡政府委員 亞米利加ノ事情ニ付
テハ、森サンモ能ク御承知ノ通り、大分
日本ト狀況ガ違ヒマス、御承知ノ通り
亞米利加ハ天然資源ニ富ンデ居ッテ、人
口ノ密度ガ日本ヨリ餘程少ク、勞働者
ノ數モ、産業狀況ニ較ベマシテ、日本ヨ
リハ比例數ガ少ウゴザイマスカラ、勞
働賃銀モ隨分高イ、熟練職工ノ如キガ、
私共ヨリハ餘程勝ツタ生活ヲシテ居リ
マス、其裕福デアアル點ガ一ツト、ソレカ
ラ御承知ノ通り亞米利加デハ、歐羅巴
ノ如ク階級ノ區別ガ餘リ固定致シテ居
リマセス、勞働者デモ、少シ利口ナ者デ
アレバ、或ハ投機ニ成功シテ翌日ハ企
業家ニナルト云フヤウナコトモ往々ア
リマスルシ、又勤勉ニシテ健康ナル勞
働者ハ、日本ノ中産階級以上ノ生活ヲ
致シテ居リマスルカラ、勞働問題トシ
テハ、亞米利加ハ餘程樂觀的位置ニ在
ルダラウト考ヘマスノデ、御話ノヤウ
ニ亞米利加ニ於テハ勞働組合ノ力ニ依
ラズシテ、非常ニ勞働者ノ福利ヲ増進
シテ居ル所モ多クゴザイマス、能ク日
本ノ漫遊者ノ御覽ニナルアノ「フオー
ド」ノ工場デアルトカ、色々勞働組合以
外ノ方法ニ依リマシテ、勞働者ノ福利
ヲ増進サレテ居リマスルガ、其問題ハ

過日木暮君ノ御質問ニ對シテ御答ヘ申
上ゲマシタヤウニ、資本家ガ進ンデ福
利ノ増進ヲスルト云フコトハ、是ハ最
モ歡迎スベキコトデ、理解ノアル資本
家トシテハ、隨分勞働問題ノ喧シクナ
リマス前カラ——二十年前カラ施設ヲ

シテ居ル所モ日本ニ在リマス次第デ、
是モ大ニ歡迎スベキデアアル、又政府ノ
立法ノ手段ニ依リマシテ、勞働法規
——保護法規ノ制定ヲ致シテ、所謂工
場法デアリマスツカ、健康保險法デア
リマスツカ、云フヤウナモノニ依リマ
シテ、保護ヲスルト云フコトモ、一ツノ
方法デアリマスガ、ソレト同時ニ矢張
過日木暮君ノ御話ニナリマシタ自助的
手段ニ依テ、勞働者ガ權利ヲ主張スル
ト云フコトモ矢張認メナケレバナラナ
イノデ、何レノ政策ヲ取ルカト云ヒマ
スルト、今日デハ何處ノ國デモ、其一ニ
偏シテ——保護法規ニ依テ解決ヲ圖リ
或ハ自助的ノ組合主義ニ依テ解決ヲ圖
ルトカ、一ツノ法規ノミニ依ルコトハ
出來ナイ事情ニナッテ居リマスカラ、勞
働組合法ノ制定ニ依リ、勞働者ノ
自助的手段ニ依テ權利ヲ主張スル以外
ニモ、無論自覺セル資本家ノ福利施設
モ喜ブベキコトデアリマスケレドモ、
又此法規モ時ノ經濟狀態、社會狀態ニ
應ジテ、尙更改善シナケレバナラヌト
思ヒマスガ、ソレト同時ニ彼等ノ自助
的手段ニ依テ組合ヲ造ルト云フコト
モ、是亦認メナイ譯ニ行クマイト考ヘ

マス、之ヲ事實ノ上ニ放任シテ置クト
云フコトモ一策デアリマスガ、此提案
ノ理由ニアリマスヤウナ趣旨ニ依リマ
シテ、此際法規ニ依テ之ヲ制定致シタ
イト云フコトハ繰返シテ申上ゲタヤウ
ナ次第デゴザイマス、尙又爭議調停法ト
云フ法律ヲ作ラナイデ、爭議ノ調停ハ出
來ナイカト云フ御話デゴザイマシタガ、
ドウモ矢張現在ノ儘デアリマスルト云
フト、是モ繰返シテ申上ゲマシタ通り、
爭議ガ長引クカ、或ハ初メニ話ガ付キ
マセヌト、感情ガ高調致シマスル結果、
爭議ノ要點以外ノ爭ニナリマシテ、所
謂戰爭ニ依テ勝負ヲ決スルト云フヤウ
ナコトニナリマスルカラ、ドウモ其調
停ガ思ハシク行カナイ、此罷業ト云フ
コトハ、資本家ノ苦痛デアアルコトハ申
スマデモアリマセヌガ、勞働者ニ取リ
マシテモ、是ハ非常ナ苦痛デアリ、又一
般ノ社會ニ取リマシテモ、隨分迷惑ヲ
蒙ルコトガアルノデアリマスルカラ、
初ニ當ツテ能ク兩方ノ利害關係ヲ考察
致シテ、相互ノ事實上ノ互讓ニ依テ、無
理ノナイ所ニ落著ケルト云フコトハ、
是ハ多クノ國ニ於テ成功ヲ致シテ居リ
マスルカラ、我國ニ於テモ此無用ノ爭ヲ
除ク意味カラ致シマシテモ、ドウモ利
害關係ガ一致セズニ爭議ニナリ、罷業
ニナルト云フコトハ、是ハ致シ方ナイ
ノデアリマスルケレドモ、其大部分

——大部分ト云フコトデナケレバ一部
分デモ、罷業ニ到ラザル間ニ圓滿ニ爭

議ヲ解決スル、少シデモ爭議日數ヲ少クシテ、勞資兩方面ノ損害ヲ少クシ、而シテ第三者ノ迷惑ヲ少クスルト云フコトハ、是ハ一日モ早クヤル必要ガアルノデハナイカト考ヘマスルノデ、此法案ヲ提出致シマシタヤウナ次第デアリマス、何卒御賛成ヲ願ヒタイノデアリマス

シ果シテサウダトシマス、一方ニ於テ日本ノ現在ノ國情ニ照シテ考ヘテ見ルト、今度ノ原案デハ駄目ダ、モウ少シ進ンダ修正ガ出ルカモ知レヌ、其修正案ガ出タラバ、政府ハソレハ今ノ國情カラ見テハ進ミ過ギテ居ルト云フ御見解ヲ阻止サレマス、或ハ之ニ御從ヒニナリマス

是ハ進ムバカリガ能デハナイ、實際國情カラ必要ガアツテ「ブレーキ」ヲ掛ケテ或程度ニ止メルト云フコトガ、國ノ爲ニ必要デアリ、而シテサウ云フ信念ノ下ニ此程度デ宜カルベシト云フ信念ヲ以テ御出シニナッタ案ナラバ、假ニ議會ノ方デ修正ラシテモ、政府トシテハ之ニ對抗セラレルノガ私ハ信念アル態度デアラウト思フ、是ハ無論質問スル方ガ野暮カモ知レマセヌガ、併シ從來ノ有様ヲ見マスルト云フト、ドウモ案其モノニ不徹底ナ點ガ非常ニ多イノデアリマスカラ、此質問ヲ致シタノデアリマス、併シ是ハ後ノ問題ニナル、唯意見ニナリマスルカラ此點モ此程度デ止メテ置キマシテ、最後ニ私ハ總括的ニ一ツ尙ホ御伺シタイ事ガアリマサルガ、其前ニ一ツ共同印刷ノ問題ニ付キマシテ伺ツテ置キタイと思フ、昨日ノ新聞デアッタ記憶スルノデスガ、小石川ノ共同印刷會社ガ、現在「ストライキ」ヲヤツテ居ル、新聞ノコトヲ事實デアルカ事實デナイカハ私保證ハ致シマセヌガ、新聞ニ書イテアル事ニ依テ或程度調べテ見マシタ所ガ、新聞ノ報道ガ必シモ虛偽ナリトハ思ヘナイ節ガ多イノデアリマス、之ヲ其中デ要點ト思フヤウナ點ヲ指摘シテ見マスルト、工場閉鎖ノ實狀ニ陷ツテ居ル、其結果職工ノ一部ハ絶望憤激シテ、出版勞働組合ノ中ノ幹部其他二三ノ人ガ會社ノ事務ノ邸宅ニ放火ヲシタ、ソレカラ他ノ工

場ヘ發砲ヲシタ、瓦石ヲ投ジタト云フヤウナ有様デアル、ソレカラ又第二ニ此爭議ノ現狀ハ經濟的爭議ノ範圍ヲ超エテ、所謂現實ニ國家ノ産業破壊的行動ニナラントスルト云フヤウナ傾向モ見エルト云フヤウナ事ガ報道セラレテ居ル、第二ノ點ハ私モ其所マデナツテ居ルトハ認メラマセヌガ、兎ニ角新聞ハサウ書イテ居ル、茲ニ私ハ一ツ伺ツテ見タイノハ、斯様ナ相當猛烈ナル爭議デアル、現ニ小石川區民ハ治安維持ノ必要上、陳情ヲシテ居ルト云フヤウナ有様デアリマス、之ヲ今ノ政府ハドウ云フ風ニ御覽ニナツテ居ツテ、ドウ云フコトヲ此爭議ニ對シテ居ラレルノデアルカ、是ハ吾々ガ勞働立法ヲ議スル上ニ於テ非常ナ參考ニナル、ソレカラ又第三ニ今ノ爭議ガ、今私ガ申シタ新聞ニ傳ヘテアルヤウナ事ガ、大部分事實デアッタ致シマシタナラバ、此爭議ノ狀態ハ現行法ニ觸レテ居ラナイデアラウカ、ドウデアアラウカ、觸レテ居ナケレバ問題ハアリマセヌガ、觸レテ居ルトシタナラバ、政府ハドウシテ居ラレルカ、此點ヲ御伺シタイ

○森委員 只今ノ御説明ハ從來ノ速記デ以テ略分ツテ居ルノデアリマス、私ノ御尋ネ致シタ趣旨ハサウデナカッタノデスガ、是ハ繰返シテモシヤウハアリマセヌガ、要スルニ、今亞米利加ノ事ヲ言ハレマシタガ、亞米利加ノ産業狀態ニ付テノ御觀察ト、私共ノ見ル所トハ少シ違フノデスケレドモ、是ハマア觀察ノ相違ト云フコトニ通グラレシマヘバ、ソレ切リデアリマスルガ、是モマア後ノ問題トシテ、此程度ニ止メテ置キマス、次ニ今マデノ質問應答ヲ拜聽致シテ居リマスルト、結局斯ウ云フコトニナリハシナイカト思フノデス、政府部内ニ於カレテモ、特ニ此社會局邊リニハ、謂ハハ進ンダ考ヘガアラレ

○鈴木政府委員 私カラ御答ヘ致シマスルガ、政府ハ此組合法ヲ適當ト認メテ提出致シタノデアリマシテ、是非トモ無修正、此儘デ一ツ御通過アラムコトヲ切ニ希望致スノデアリマス、併ナガラドウシテモ修正ナサルト云フコトデアリマスレバ、其時分ニハドウ云フ態度ヲ取ルカ、是ハ其場合ニ打突カツテ見マセヌト云フト、的確ナル考ハ申サレマセヌガ、若シ「リーゾナブリー」ナ修正デアリマスナラバ、而シテ是ガ兩院ヲ通過スルト云フコトデアリマスレバ、必シモ固執スル譯デハアリマセヌケレドモ、相成ベク此儘、無修正デ一ツ御通過ニ御盡力アラムコトヲ御願スル次第デアリマス

○森委員 私ハ政府ノ御希望ヲ伺ツテ居ルノデハナイノデ、政府ノ信念ノ在ル所ヲ伺ツテ居ルノデス、ドウモ此法案ノ内容ヲ私共ガ伺ツテ見ルノニ、社會局長官ガ段々ト御説明ニナリマスル空氣ヲ私ガ觀察シテ見ルノニ、社會局長官アタリノ御意見ハ、寧ロ吾々ト同一意見デハナイカト思フノデス、併ナガラ

○長岡政府委員 共同印刷株式會社ノ爭議ニ關スル御質問デゴザイマシタガ、是ハ實ハ調ベタモノハ持合セテ居リマスガ、マダ此爭議ハ繼續中デアリマシテ、官廳ノ觀察致シマシタ事、若クハ警察ノ報道ヲ此所デ赤裸々ニ申上ゲルノハ、或ハ不適當デハナイカト考ヘマス

○森委員 只今ノ御説明ハ從來ノ速記デ以テ略分ツテ居ルノデアリマス、私ノ御尋ネ致シタ趣旨ハサウデナカッタノデスガ、是ハ繰返シテモシヤウハアリマセヌガ、要スルニ、今亞米利加ノ事ヲ言ハレマシタガ、亞米利加ノ産業狀態ニ付テノ御觀察ト、私共ノ見ル所トハ少シ違フノデスケレドモ、是ハマア觀察ノ相違ト云フコトニ通グラレシマヘバ、ソレ切リデアリマスルガ、是モマア後ノ問題トシテ、此程度ニ止メテ置キマス、次ニ今マデノ質問應答ヲ拜聽致シテ居リマスルト、結局斯ウ云フコトニナリハシナイカト思フノデス、政府部内ニ於カレテモ、特ニ此社會局邊リニハ、謂ハハ進ンダ考ヘガアラレ

○鈴木政府委員 私カラ御答ヘ致シマスルガ、政府ハ此組合法ヲ適當ト認メテ提出致シタノデアリマシテ、是非トモ無修正、此儘デ一ツ御通過アラムコトヲ切ニ希望致スノデアリマス、併ナガラドウシテモ修正ナサルト云フコトデアリマスレバ、其時分ニハドウ云フ態度ヲ取ルカ、是ハ其場合ニ打突カツテ見マセヌト云フト、的確ナル考ハ申サレマセヌガ、若シ「リーゾナブリー」ナ修正デアリマスナラバ、而シテ是ガ兩院ヲ通過スルト云フコトデアリマスレバ、必シモ固執スル譯デハアリマセヌケレドモ、相成ベク此儘、無修正デ一ツ御通過ニ御盡力アラムコトヲ御願スル次第デアリマス

○森委員 私ハ政府ノ御希望ヲ伺ツテ居ルノデハナイノデ、政府ノ信念ノ在ル所ヲ伺ツテ居ルノデス、ドウモ此法案ノ内容ヲ私共ガ伺ツテ見ルノニ、社會局長官ガ段々ト御説明ニナリマスル空氣ヲ私ガ觀察シテ見ルノニ、社會局長官アタリノ御意見ハ、寧ロ吾々ト同一意見デハナイカト思フノデス、併ナガラ

○長岡政府委員 共同印刷株式會社ノ爭議ニ關スル御質問デゴザイマシタガ、是ハ實ハ調ベタモノハ持合セテ居リマスガ、マダ此爭議ハ繼續中デアリマシテ、官廳ノ觀察致シマシタ事、若クハ警察ノ報道ヲ此所デ赤裸々ニ申上ゲルノハ、或ハ不適當デハナイカト考ヘマス

ルノデ、是ハ是非御承知ナリタケレバ
他ノ機會ニ於テ申上ゲルコトハ差支ア
リマセヌガ、今日ハ稍靴ヲ隔テ、痒
キヲ搔クヤウナ御答ヲ申上ゲテ、御満
足ヲ得ナイカトモ存ジマスルガ、只今
御話ノ事件即チ放火ハ、是ハ嫌疑ガア
リマシテ司法事件ニ繫屬中ノヤウデア
リマス、ソレカラ發砲ト云フノハ、是ハ
唯空氣銃デ何カ撃ッタトカ云フヤウ
ナコトデ、何レモ法ニ觸レタコトハン
レ、警察ニ於テ檢舉ノ手續ヲ取ッテ
居リマス、又印刷組合ノ思想ガ——印
刷組合ト申シマシテモ、今回關係シテ
居リマスノハ元博文館ノ印刷職工——
此共同印刷ハ博文館印刷所ト精美堂ト
日本書籍印刷所ト、此三ツガ大正十四
年ノ二月ニ合併シタモノデアリマス、
サウシテ博文館印刷所ノ職工ガ組織シ
テ居リマス「エッチ・ビー」俱樂部ト云フ
ノガアリマス、此「エッチ・ビー」俱樂部
ハ大正十四年四月ニ出版労働組合ト改
稱致シマシテ、日本労働組合評議會ニ
加盟ヲ致シテ居ル、其後共同印刷ガ成
立致シマシタトキニ、精美堂ノ職工モ
日本書籍印刷所ノ職工モ、此出版労働
組合ニ加入シテ居ル譯デアリマス、此
出版労働組合ガ即チ日本労働組合評議
會ニ加盟致シテ居ル、斯ウ云フ狀況デ
ゴザイマスルガ、其主張ガ非常ニ左傾
シテ居リハセヌカト云フヤウナ只今ノ
御質問デゴザイマシタガ、只今爭議ノ
要點トナッテ居リマスコトハ、從來ノ辯

造課ノ十時間勤務ヲ九時間ニ短縮スル
トカ、鐵工課ノ夜業ノ割増金三割ト云
フモノヲ二割ニ減シマス、一日ノ經
費約二千圓節約サレト云フヤウナ問
題ニ付キマシテ、要スルニ色々爭ッテ居
ル譯デアリマシテ、只今ノ爭議ガ直ニ
共產的ノ主張ヲ實現スル爲ニヤッテ居
ルト云フヤウナ結論ニハ只今ノ所至リ
兼ネルダラウト思ヒマス、併シ是ハ私
ガ唯労働爭議トシテ觀察ヲ致シマシタ
部分デゴザイマスカラ、之ヲ警察的ニ
見マスルト、他ニ何カ私ノ知ッテ居ル以
外ニ材料ガアルカモ存ジマセヌ、是ハ
遺憾ナガラ私ハ存ジマセヌ、ソレハ知ッ
テ居ッテ申サイノデハナイ、事實警察的
ノ報告ハ私ノ方デ接受シテ居リマセヌ
カラ——併シ私ノ知ッテ居ル限リデハ、
現在ノ爭議ハ労働條件ニ關スルモノデ
アッテ、只今ノ根本問題ニ觸レタ思想上
ノ問題ガ茲ニ現ハレテ居ルト云フヤウ
ニハ見ラレナイノデアリマス、併シ若
シ此治安維持法ニ觸レルヤウナ主張ヲ
實現スルト云フヤウナ行動ガアリマシ
タナラバ、是ハ私カラ申上ゲルマデモ
ナク、警察トシテ適當ナ處置ヲ執ルダ
ラウト考ヘマス、是等ノ問題ニ付キマ
シテモ、早ク爭議調停法デモ出來マシ
テゴザイマシタナラバ、モット早ク解決
シタカトモ存ジマスルガ、吾々ノ怠慢
ノ爲ニ時期ガ遅レタト云フコトハ洵ニ
遺憾ニ堪ヘナイト考ヘテ居ル次第デア
リマス

○森委員 政府委員ハ巧ニ私共ノ間ハ
ントスル所ヲ逃ゲテシマハレタノデア
リマスルガ、私ハ此爭議ガ善イトカ惡イ
トカ云フノデハナイ、爭議ノ現狀ガ中
辛辣ナ程度ニ行ッテ居ルト云フコト
ヲ新聞紙ガ報道シテ居ル、其報道シテ
居ルコトハ、或程度マデハ事實ラシイ、
殊ニ小石川區民ノ一部ハ陳情マデシテ
居ルト云フ事實ガアル、斯様ナ問題ヲ
法規ニ依テ行動セラル、ノデアルカ、或
ハ所謂手心ヲ以テ行動セラル、ノデア
ルカト云フ事柄ハ、聽テ立法ヲ爲ス上ニ
於テ非常ナ參考ニナル、ソレデ私共ハ
御伺ヲ致シタノデアリマスルガ、併シ
之ハ是レ以上問ヒマシタ所デ、御答辯
ニ御不便ト思ヒマスカラ、私ハ此點ハ此
程度デ打切りマス、最後ニ私一ツ伺ッテ見
タイノハ、多少意見ノ陳述ニナルカモ知
レマセヌガ、先程來政府委員ノ御答辯
ナドカラ考ヘテ見マシテモ、日本ノ
資本家階級、或ハ労働者側トデモ言ヒ
マセウカ、或ハ労働者側ト言ヒマスル
カ、要スルニ雙方共其立場ガ皆不徹底
デア、眞ニ權利義務ノ爲ニ忠實ニ所
信ヲ以テ進ムト云フ態度ガ、日本ノ産
業界ニ於テハ現ハレテ居ナイ、即チ總
テ不徹底デア、其不徹底ナル時代ニ
立法スルト云フノデアリマスカラ、是
ハ餘程注意ヲシナクテハナラナイト思
フ、私ハ日本ノ憲法カラ行ッテ、結社ノ
自由、言論ノ自由モ許サレテ居ルノデ
アリマスカラ、成ベク此社會狀態或ハ

産業狀態ニ於ケル總テノ事柄ヲ、自然ノ
其發達——榮枯盛衰ニ委スルコトガ先
ヅ宜イノデアラウト思フ、或ル少數者
ノ意見ニ依テ掣肘スルト云フ態度ハ、
面白クナイ事柄デアルト思フ、若シ此
際努メルナラバ、自然ニ發達スルコト
ヲ阻害スル所ノ舊來ノ官僚政治家ノ
ヤッタヤウナ法規典例ト云フモノヲ削ッ
テ行クノガ、立法スルヨリハ急務デハ
ナイカト云フ風ニ私共ハ思ッテ居ル、殊
ニ政府委員ノ委員會ニ於ケル説明ヲ
伺ッテ見マシテモ、法律デハ成程組合ヲ
認メズ、團體權ヲ認メナイト言ッテ居ル
ガ、事實ハ悉ク認メテ居ラレ、又事實
ニ於テハ政府ガ働キ掛ケテ組合ノ發達
ヲ促シテ居ラレ、之ヲ努メテ行カレ
テ、サウシテ或程度マデ資本家側或ハ
労働者側ガ、其所ニ自己ノ職業自己ノ
立場ニ眞剣ニナッタ時代ニ於テコソ、其
時代ノ必要ニ應ジテ立法スルコトガ安
全デアルト思フ、況ヤ普通選舉ガ既ニ
法律ガ出來テ此議會ガ解散デモナッタ
ラ、直ニ行ハレルト云フ其時代ニ、ソレ
ガ目ノ前ニ見エテ居ルノニ、労働者ノ
一人ノ代表者モ居ナイ此議會ニ於テ、
倉卒トシテ此立法ヲ爲サッタト云フコ
トハ、或ハ資本家擁護ノ立場ニ立ッテ、
普選後ニナッテ急激ナ法律デモ出來ナ
イ中ニ、鶴のナモノヲ作ッテ阻止スルト
云フ考ガアルノデハナイカト邪推サレ
テモ仕方ガナイト思フ、寧ろ是ハ普通
選舉デモ行ッテ、サウシテ労働者ノ代表

者モ出來テ、モウ少シ雙方ガ眞劍ニナッ
タトキニ於テ、必要ニ應ジテ立法サレ
ルコトガ良イノダト私共ハ思フノデア
リマスルガ、政府ハ何故ニ此立法ヲ斯
様ニ御急ギニナルノデアルカ、此點ニ
對シテハ多少御説明モアッタヤウデア
リマスケレドモ、不十分デアリマスカ
ラ、吾々ノ意見ヲ決メル參考トシテ重
テ伺ッテ置キマス

○長岡政府委員 只今ノ森サンノ御意
見ハ、洵ニ尊敬スベキ御意見ト思ヒマス
ガ、自然ニ放任シテ置クコトガ善イ惡
イト云フコトハ、餘程疑問デゴザイマ
ス、御承知ノ通り英國ノ自由主義、自然
ノ競爭ニ委シテ置クコトガ、一番産業ガ
發達スルト云フ、此「マンチエスター」
派ノ意見、正統派ノ經濟學說ト申シマ
スルガ、是モ確ニ一理アルト思フガ、併
シ要スルニ今日自由ニ委セテ置クコト云
フコトニナルト、英國デ昔此勞資ノ問
題ヲ自由ニ放任シテ居ッタ爲ニ、色ミナ
慘劇ヲ生ジタヤウニ、日本ニ於テモ産
業革命、大資本ニ依ル株式組織デ、大會
社ガ大規模ニ生産スルト云フヤウナコ
トモ、既ニ外國ノ例バカリデナク、統計
ノ示ス如ク非常ニ殖エテ居ルノデアリ
マスカラ、ドウ致シマシテモ自然ニ放
任シテ置キマスレバ、勞資兩方ノ間ニ
種々ノ間隙ヲ生ジテ來ル、眞劍味ニナ
ルト云フコトモ一理ハアリマスケレド
モ、此眞劍味ト云フコトガ險惡ニナリ
マスト云フト、是亦憂フベキコトデ、全

然勞資ノ關係ヲ自由ニ、或程度マデ放
任スルト云フコトニナリマス、結局
勞働者ノ保護法規ノ如キコトハ無用ナ
ル政府ノ干涉デアル、工場法トカ健康
保險法トカ云フヤウナモノ、根本マデ
觸レテ來マセヌト徹底シマセヌノデ、
其點ハ矢張自然ニ放任シテ置イテ、勞
資兩方ノ關係ガ熾烈ニナルト云フ前
ニ、成ベク之ヲ防ギタイ、而シテ勞資兩
方ノ關係ニ付テ、私共ハ此間申上ゲマシ
タ目的ニ必ズシモ相反スルモノトハ思ッ
テ居リマセヌ、資本アツテノ勞働、勞働
アツテノ資本ト考ヘマスカラ、其兩者ハ
車ノ兩輪ノ如ク、鳥ノ兩翼ノ如ク、何レ
ヲ缺イテモ生産ハ興ラナイ、隨テ勞働
者ニ對シマシテモ相當ノ榮養ヲ與ヘ
ル、相當ノ安眠ヲ與ヘル、相當ノ慰安ヲ
與ヘルト云フコトガ、即チ産業ノ振興
ヲ圖ル一ツノ要素トナルベキモノデ
アツテ、之ヲ自然ノ勢ニ任シテ置クト、
弱イ勞働者ト云フモノハ、結局或時期ニ
ハ自暴自棄ニナツテ、思想ガ險惡ニナル
ト云フヤウナコトモ、是亦處置シナケレ
バナラヌト考ヘマスノデ、是等ノ問題ニ
付テハ、總テ社會政策的ノ施設ハ一日
モ早イ方ガ宜シイ、遲レ、バ遲レルダケ
ノ損ガアルト考ヘマス、且又普通選舉
云々ノ御話デゴザイマスガ、是ハモウ
私カラ繰返シテ申上ゲルマデモナク、
他ノ政府委員及內務大臣カラ申上ゲテ
居リマスカラ、繰返シテ私カラ蛇足ヲ
添ヘルコトハ省イテ置キタイト思ヒマ

ス
○森委員 私ガ自然ニ任スト云フコト
ハ、今ノ英吉利ノ自由貿易主義ノヤウ
ニヤレト云フノデハナイノデアリマ
ス、是ハ右ト言ヘバ左ト云フ風ニ反響
シテ御答辯ニナリマスガ、是ハ爭ニハ
ナリマセヌカラ、此程度デ大概御意見
ノ次第ハ分リマシタノデ、是デ打止メ
マスガ、要スルニ今政府委員ノ言ハレ
ル御精神デアルトスレバ、餘リ其内容
ガ伴ハナイ、不徹底ノ案ト思ヒマシタ
ノデ、自然斯ウ云フ質問ガ出タノデア
リマス、私ノ質問ハ是デ打切りマス
○栗林委員 極ク簡單ニ一二御尋致シ
タイ、此法案ヲ見マスルト、第一ニ勞働
者ノ組合ヲ組織スル範圍ヲ限定シテア
ルモノト認メマス、是ガ又組合員ニナ
ル根本原則ニナツテ居ルト思フ、詰リ自
己ガ直接利害關係ノアルモノニ限定サ
レテ居ルモノト認メテ居リマスガ、然
ルニ十二條、十四條若クハ最後ノ附則、
是等ヲ通ジテ見マス、第一條ノ根本
精神ト矛盾シテ居ルヤウニ思ハレル、然
ラバ何故ニ第一條ニ之ヲ限定シタノデ
アルカ、詰リ十二條ニハ「同一又ハ類似
ノ職業又ハ産業ノ勞働者ニ非サル者
ト雖左ニ掲クル者ハ勞働組合ノ組合員
ト爲ルコトヲ得」トアツテ、而シテ此三
箇條ノ中デ「組合ノ役員ニ選任セラレ
タル者」若クハ「總會ノ決議ニ依リ加
入ヲ許サレタル者」トアルガ、然ラバ總
會ノ決議デ許サレタル者ハ如何ナル者デ

モ差支ナイカ、又役員ハ第一條ニ規定
セラレテ居ル範圍外ノ者デモ宜イト云
フコトニナレバ、甚ダ其趣意ガ一貫セ
ナイ、矛盾シテ居ルヤウニ思フガ、其點
ニ付テ御意見ヲ承リタイ
○長岡政府委員 第一條ト第十二條ト
ノ關係ニ付キマシテハ、過日清瀬君ノ
御質問ニ對シテ御答ヲ申上ゲテ置キマ
シタガ、第十二條ノ規定ニ依リマシテ
第一條ノ原則ヲ覆スト云フ意思ハ持ッ
テ居リマセヌ、即チ第十二條ノ規定ハ
筋肉勞働者デナクトモ、知識階級ノ者
ノ指導ヲ受ケタイト云フヤウナ組合ニ
ハ、強ヒテ之ヲ阻止スル必要ハナイ、又
從來ノ傾向ニ見マシテモ、知識階級ガ
役員トナリ、組合ヲ指導シテ居ル所ノ
組合ハ、大體ニ於テ思想ガ穩健デ極端
ナ暴狀ニ走ルト云フコトガゴザイマセ
ヌ、之ニ反シテ知識階級排斥ト云フヤ
ウナ組合ハ、ドウモ極端ニ走り易イヤ
ウナ傾向モアリマスカラ、筋肉勞働者
ニ非ザル知識階級ノ者ヲ入レタイト云
フヤウナ組合ガアリマシタナラバ、其
時ハ此十二條ニ依テ貫ヒタイト云フノ
デアリマスカラ、假ニ過日清瀬君ガ例
ニ御引キナリマシタヤウニ、千人ノ
紡績工ガ第一條ニ依テ組合ヲ造リ、而
シテ總會ノ決議ニ依テ二千名ノ鐵工ヲ
入レタイトキニハドウスルカ、其場合ニ
ハ第一條ノ原則ガ覆ヘルデハナイカト
云フ御質問デゴザイマシタガ、ソレハ
極端ナ場合ニナリマスレバ、第一條ノ

原則ヲ覆ヘシタモノトシテ、最後ノ手段トシテハ第十七條ニ依リマシテ、其總會ノ決議ヲ取消スト云フ途モアリマスケレドモ、併シソレマデ行カナクテモ、サウ云フヤウナ事ニ付テハ、大體話合ヒノ付クノガ當リ前デアル、又此世智辛イ世ノ中ニ、金ヲ費シ、手數ヲ費シ、時間ヲ費シテ、内務省ヲ困ラセルヤウナ組合ガアルトモ思ハレナイ、其時ニハ二千人ノ鐵工ハ別ノ組合ヲ造リ、千人ノ紡績工ハソレデ又別ノ組合ヲ造ッタラ宜イデハナイカト云フコトニモナルガ、サウ云フ場合行政ノ妙味ト云フモノハ、蓋シ其處ニ在ルト思ヒマスカラ、最後ノ取消處分マデ致サナクテモ宜イト思ヒマス、ケレドモ極端ナ場合ヲ想像シテ、千人ノ紡績工ガ一ツノ組合ヲ造リ、總會ノ決議ニ依テ二千人ノ鐵工ヲ加入サセルコトヲ實現シタト云フ場合ニハ、是ハ第一條ノ規定ニ反スルモノトシテ、法律的ニ言ヘバ其決議ヲ取消スヨリ外仕方ガナイト思ヒマス、併シサウ云フ問題ハ常識上起ルモノデハナイト思ヒマス

是ハ無論當然ノ事デアルカラ、ソレハ組合員ニ非ズトモ顧問辯護士デアッテモ、亦ドウ云フ資格デアッテモ、組合員ニ非ズトモ指導ヲ受ケル方法ハ何レニシテモアル、現在種々ナル同業組合ガアルガ、其組合ニ問題ガ起ッタトキニハ、必ズ相當ノ知識階級ノ者ノ指導ヲ受ケテ居ルコトハ當然ノ事デアル、何モ組合ニ這入ル資格ハ要ラナイ、是ガ根本ノ問題デアル、サウスルト各國ニ於テハ本法ノ如ク曖昧ナ規定ヲセズシテ、頭デ限定ヲシナイデ、勞働組合ヲ組織シテ居ルモノト、サウデナイモノトノ二様アルヤウニ思フノガ、是ハ何レノ主義ヲ採ラレテ居ルカ、斯ウ云フ大體ノ御尋デアリマス、ソレカラ今一ツ若シ斯カル此制限ヲ撤廢セラル、コトニナレバ、根本ノ趣意ガ違ッテ來ル、吾ハ勞働問題ハ重大ナ事デアリ、又國家トシテモ攻究シナケレバナラヌ、多數ノ勞働者ノ利益ヲ圖ル上ニハ、政治問題トシテ大ニ考ヘナケレバナラヌガ、ソレハ別段ニ政社組織トカ勞働黨トカ云フヤウナモノデナクシテ、實際自己ノ利益、自己ノ待遇ヲ良クスル爲ニ、組織スル勞働者ノ組合ハ、何等一般政治ニ關係スルコトナクアリ得ルノデアリマス、要スルニ今日ノ勞働者ガ非常ニ待遇ガ薄イ、又自己ノ生活ガ裕カデアルト云フコトデナケレバ、生活ヲ向上セシムルコトハ出來ナイ、之ヲ此儘ニシテ置キマシタナラバ、只今承ッタヤウ

ニ、小石川ノ印刷業者ノ「ストライキ」ノ如キモノニナル、斯ノ如キコトガ屢累ナリマスレバ、遂ニハ産業ヲ破壊シテ、國家ガ衰微スルノデアアル、英國ノ如キモ勞働問題ニ付テ相當歴史ノアル國デアリマスガ、其英國サヘモ此問題ノ爲ニ、産業上打撃ヲ受ケテ、最早英國ガ工業國トシテ世界ヨリ仰ギ視ラレタ時代ハ過ギ去ッタカノ觀ガアル位デアアル、英國ニシテ既ニ斯ノ如シデアルカラ、此問題ヲ如何ニスルカ、段々根本ニ付テ改メルヤウニシナケレバ、必ラズヤ我國モ英國ノ轍ヲ踏ムヨリ外ハナイト思フノデアリマス、詰リ私ハ第一條ノ原則ニ對シテ除外例ガ設ケテアル、而モ附則ニ於テ……私語ヲ御慎ミ下サイ、御靜ニ願ヒマス——附則ニ於テ從來ノ組合ヲ認メ、又此後取り變ハルベキ主義ト矛盾シタ點ガアル

「栗林委員長代理、委員長席ヲ退キ、森田委員長復席」
要スルニ第一條ヲ御書キニナルトキニハ、直接ノ職業者、詰リ勞働者ノミヲ以テ組合ヲ組織セシムル意思御決定メニナッテ居ル、然ルニ段々條文ヲ辿ッテ參リマスト、第十二條及附則ニ於テ、此主義ガ違ッタコトニナッテ居ル、是ハドチラニカ依ラナケレバ、私ハ主義ガ一貫シナイト云フ御尋ラスルノデアリマス
○長岡政府委員 主義ガ一貫シナイト云フ御話デアリマスガ、凡ソ法律ヲ施行スル際ニハ、過渡の規定トシテ附則ニ於テ現狀ヲ緩和スル規定ヲ置ク例ハ多々アリマス、現在事實上存在シテ居ル合同組合ノ如キモノモ、此際——本法施行ノ際ニ限リ一時的ニ救済スルト云フコトハ、敢テ原則ノ破壞トハ思ヒマセヌ、又第十二條ノ問題ニシテモ、例外デアリマシテ、多クノ規則ハ原則ガアレバ例外ガアル、茲ニ多少ノ例外ヲ認メマシテモ、原則ガ破壞サレルトハ了解シテ居ラナイノデアリマス
○栗林委員 他ノ事柄ヲ以テ私ノ質問ノ趣旨ヲ明ニ致シマスレバ、茲ニ例ヘバ鐵工業ヲ營ム會社ガ、定款ヲ拵ヘルトキニ、事業ノ一定ノ目的ガ規定シテアル、然ルニ附則ヲ見ルト鐵工業以外ニ如何ナル事業ヲヤッテモ宜シイト書イテアルトスレバ、根本ニ於テ矛盾ガアルノデアリマス、勞働者ハ第二條ニアリマスヤウニ互ノ共濟修養共同利益ノ保護増進ヲ圖ル爲ニ組合ヲ造ルモノデ、而モ其費用ハ勞働者ガ出スノデアアル、然ルニ第十二條ト附則トニ於テ、此根本主義ニ反スルヤウナ規定ガアリマスレバ、是ハ原則ノ例外ニ非ラズシテ、寧ロ根本主義ガ違フヤウニナルノデアリマスカラ、其事ヲ御尋スルノデス
○長岡政府委員 實ハ能ク御質問ノ趣旨ヲ了解致シマセヌカラ、或ハ的外レノコトヲ申スカ知レマセヌガ、只今御引例ノ定款デ規定シタコトヲ、其後ニ其定款ヲ勞働者ノ意見デモナイノニ、ドウ變更シテモ良イカト言ハレタヤウ

ニ承リマシタガ、ソレハ此附則ノ問題トハ關係ノナイコトデアリマシテ、附則ハ現在アル勞働組合ヲ、本法施行ノ際ニ一時的ニ法人ノ資格ヲ與ヘヤウト云フノデアリマス、其後ハ認メテ居ラナイノデアリマス

○栗林委員 然ラバ現代ニ於テ何等第一條ハ適用ニナラヌノデアリマスカ、サウ云フコトデアルト、第一條ニ規定シタコトハ何等意味ヲ成サヌコトニナリマス、將來ハ兎ニ角トシテ……

○長岡政府委員 斯ウ云フ例ハ他ノ法律ニモ澤山アリマス、多數ノ人ヲ糾合スル勞働組合ハ、短時間ノ内ニ急ニ大キナ組合ヲ造ルコトハ事實上出來マセヌカラ、先日表ニシテ差上ゲマシタヤウナ職業別ニ非ズ、産業別ニ非ズシテ、年來存在スル合同組合ハ、本法施行ノ際ニ限ッテ救済シヤウ、便宜ヲ與ヘヤウト云フニ過ギナイノデアリマス、隨テ此附則アルガ爲ニ法律ノ原則ト相容レナイヤウニナルトハ認メテ居リマセヌ、是ハ或ハ結局御意見ノ相違ニナルカ存ジマセヌガ此以上申上ゲルコトハ出來マセヌ

○栗林委員 十二條トハサウ云フヤウナ關係ガアルカモ知レマセヌガ、併ナガラ既ニ御提案ニナッテ居ル所デ見ルト、此趣意ガ一貫シテ居ナイヤウデアリマス、次ニ御尋致シマスコトハ十四條デス、是ハ此法案中重要ナ箇條ト思ヒマス「解雇ノ意思表示ハ之ヲ無

効トス」トアリマス、事實ハ勞働組合ノ組合員タルノ故ヲ以テ解雇サレ、又其解雇サレタ者ガ工場内ニ居ッテ、有ユル工場内ノ平和ヲ破リ、若クハ多クノ者ヲ勸誘若クハ煽動スルト云フヤウナ人ガアレバ、工場トシテハ之ヲドウスルト云フ事實ガ玆ニ起ル、而シテ解雇スルコトガ出來得ナイナラバ、ソレハ別デアルガ、然ルニ「解雇ノ意思表示ハ無効トス」トアリマス、意思ヲ表示シテモ、シナクテモ、事實其通りデアレバ、一方ニ於テ組合員ガ承知スルモノデナイ、必ズ此條文ニ依テ爭フ、又工場主カラ言ヒマスレバ、何等意思ノ表示ガナイト云フコトナラバ、斯ル爭議ハ絶エナイ、明ニ何レカニナッテ來ル、此條文ガ有ルガ故ニ此點ニ於テ爭議ガ絶エナイ、詰リ爭議ノ種ニナルト思ヒマス、此組合員タルノ故ヲ以テノ解雇ハ許サヌ、若クハ解雇ノ意思ヲ表示シテモ無効デアル、之ガ削除シテアレバ、此解雇ノ意思表示ヲシナクテモ差支ナイ、若シ是デ通スナラバ、罰デモ何デモ附ケテ置クコトガ當然デハナイカ、是デハ一向不鮮明ノヤウニ存ジマスカラ御尋致シマス

○長岡政府委員 只今ノ御尋ハ、雇傭者ガ事實上解雇シタト意思表示ヲシナイ場合ハドウカト、斯フ云フヤウニ伺ヒマシタガ、解雇ヲスレバソレガ意思表示ニナルノデス、意思表示ト云フ文字ノ意味ハ、其處ニ歸著スルコト、御了

承ヲ願ヒタイ、要スルニ問題ハ勞働組合員タルノ故ヲ以テ解雇シタカ、解雇シナイカト云フコトニ歸著スルノデアリマシテ、雇傭者ガ他ノ理由即チ事業ヲ縮小スル、或ハ工場ノ規律ヲ維持スル爲ニ、彼ハドウシテモ解雇シナケレバナラヌト云フヤウナ、他ノ理由ニ依テ解雇シタ場合ニ於テハ、ソレハ十四條ノ關スル所デハナイト思ヒマス、他ニ何モ理由ナクシテ唯單純ニ、勞働組合ニ加入シタト云フ理由ヲ以テ解雇スレバ、其解雇ハ無効デアル、斯ウ云フ事ヲ書イタノデアリマシテ、此場合ニ事實ニ於テ多少或ハ困難ナ場合ガアルカモ知レマセヌケレドモ、ソレハ裁判官ガ職權ヲ以テ認定スル外ハナイノデアリマス

○栗林委員 然ラバ事實ニ依ラズシテ、工場主ガ他ノ理由ニ託シテ此處分ヲシテモ問題トハナリマセヌカ

○長岡政府委員 ソレハ事實問題デアリマシテ、實際ハ勞働組合ニ加入シタル故ヲ以テ解雇シタノデハアルケレドモ、名ヲ他ノ事ニ託シテ解雇シタナラバ、ソレハ要スルニ個々ノ場合ニ於テ解雇ノ原因ガ、組合ニ加入シタ故デアルカ、他ノ理由デアルカト云フコトハ、裁判官ガ判斷スル外ハナイト考ヘマス

○栗林委員 次ハ爭議調停ノ事ニ付テ御尋致シマス、爭議調停ハ結局相互ニ調停ニ應ジナイ場合ハ無論ソレマデノ事ニナッテ居リマスガ、是ハ他ノ爭議ノ

例ガナイノデ打切ルノデアリマセウカ、若クハ爭議調停ノ決定ニ應ジナイト云フ場合ニハ、最後ノ決定ガ他ニ行ハレル例ハナイデセウカ

○長岡政府委員 他ノ國ノ立法例デアリマスガ、結果ヲ強制シテ居ル立法例ハ少イノデアリマス、新西蘭ノ如キハ調停ノ結果ニ效力ヲ持タセル、結果ニ於テモ強制調停ノ制度ヲ執ッテ居リマスガ、新西蘭ニ於テハマダ産業ノ幼稚ナ處デ、一工場ノ平均職工ガ十數名ニ過ギナイ、大部分ハ農業者デアル、九割五分マデハ農産物ノ耕作デアルト云フヤウナ農業國デアリマスカラ、之ニ對シテ結果ヲ強制スルト云フコトガ或ハ行ハレテ居ッタカモ知レマセヌガ、多數ノ勞働者ガ當事者ニナッテ居ルトキニハ、結果ヲ強制スルト云フコトハ、事實不可能デアリマシテ、又過日モ申上ゲマシタヤウナ色々ナ理由ニ依テ、此案デハ結果強制ノ途ヲ開カナカッタノデアリマス

○栗林委員 英吉利ヤ獨逸ニサウ云フ例ハアリマセヌカ

○長岡政府委員 英吉利ハ強制調停ヲヤッテ居リマセヌ、獨逸ハ一寸曖昧ナ所ガアリマス、是ハ先日原君ガ御引用ニナリマシタケレドモ、先ヅ原則トシテハ強制調停ヲシテ居ナイト申シタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○栗林委員 私ノ質問ハ是デ終ノマシタ

○森田委員長 今日ハ是デ止メマセウ
カ——明日ハ午前十時ヨリ厲行致シマ
シテ進行ヲ圖リタイト思ヒマス、ソレ
デハ本日ハ之ニテ散會致シマス

午後四時十一分散會

大正十五年三月二日印刷

大正十五年三月四日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社